



早稲田大学合格への 勉強法実践講座

予備校に通わず難関大学で合格点が取れるようになる
マインド、勉強法の原則、参考書を使った具体的手法

目次

独学ラボが提唱する勉強法	2
独学ラボ式のメリット	3
落ちる受験生のパターン	11
独学ラボ式の全体像と手順	17
試練その 1 : やる気を出す、合格マインドを手に入れる	19
試練その 2 : 合格理論を知る	30
試練その 3 : 現状学力を測る	39
試練その 4 : 勉強法の大原則を学ぶ	41
試練その 5 : 基礎学力を身に付ける	52
試練その 6 : 教科書（センター・マーチ）レベルの学力を固める	96
試練その 7 : 過去問を分析し受験戦略を立てる	108
試練その 8 : 早稲田レベルの学力を固める	113
試練その 9 : 模試や過去問を解き弱点を埋める	127
付録 : お役立ち情報・シート	130
おわりに	142

独学ラボが提唱する勉強法

はじめに：本書を読むことでわかる事

確実に成績が上がるメカニズム

独学で成績を上げるために必要なマインド

やる気を爆発的に上げる方法

偏差値30から早稲田レベルまでの英国世勉強法

受験生が知っておくべきツール、サイト

本書を読んでほしい読者像

私は、以下のような受験生を思い浮かべて記事を書いています。

昔から勉強は苦手で、いつも学校の成績は中の下から下の下。高校生になり一念発起、受験勉強を始めるが、成績は全く伸びない。

予備校や塾に通っているが、成績の伸びは実感できず、「自分は頭が悪いのではないか、自分は大学になんか行けないんじゃないか」と思っている。

友人は順調に成績を伸ばしているが、自分はこないだの模試で散々な成績を取り、途方に暮れている。正直、何から取り組めばいいのかわからない。



インターネットで勉強法の事を調べたこともあるが、どれも抽象的な話ばかりで、自分にピッタリな情報を提供してくれるページはどこにもない。

また、参考書で勉強しているのだけれど、参考書の感想を書いている人の意見はバラバラで、どれを信じていいかわからない。実際に使ってみると、難しすぎて使いこなせなかったり、使い方がわからなかったりしたものも数多くあった。



このままでは受験に落ちてしまうと思うと、やる気も出ずにダラダラとなんとなく毎日を過ごしてしまっている。

あなたが上のような例に1つでも当てはまるなら、本書はあなたにとって良い気づきや発見になることでしょう。

独学ラボ式のメリット

メリット①：塾・予備校に通わずとも安い受験費用で大学に進学することができる

年間100万円以上かかるとも言われている予備校の学費。私のように、経済的な事情で通えない人も多いと思います。

予備校に通えない人は、自分の志望する大学に進学することをあきらめるしかないのでしょうか？いいえ、予備校に通わなくても、大学に合格する方法はあります。参考書を使用しての独学です。

しかし、独学なんて不安。予備校に通わなくて大学に合格できるの？こう思われる方がほとんどでしょう。しかし実際は、

- 予備校の授業並みのクオリティの参考書がたくさんある
- 参考書のみを使って早慶など難関大学に合格する人がたくさんいる
- 授業も参考書も単なる「ツール」で質もほぼ同じ。大切なのは勉強法

以上3つ（特に1は信じがたいかもしれませんが）の理由から、予備校に通うことが必ずしも必要不可欠でないことが言えます。

1.の理由についてももう少し詳しくお話ししましょう。たとえば「英文法基礎」「古典文法基礎」といった言葉がタイトルに含まれる授業があります。これらは1つにつき数万円の授業料がかかるものがあります。

しかし、ハイレベルな授業ならまだしも、基礎的な文法なら『Mr.Evineの中学英文法を修了するドリル』『もっとつながる英文法』『望月の超基礎がため古文教室』など、たった1冊～2冊で完成させることができます。



それに、授業は毎日受けられないものもあるため、参考書のように「3日で読み終える」といった速習が出来ません(映像授業なら可能)。しかし映像授業でも、講師の話を聞くの

と、自分でどんどん文字を読んでいくのとは、圧倒的に後者の方が速いです。

「読むよりも聞いた方がわかりやすい」というご意見も聞きます。しかし昨今の受験参考書は本当にわかりやすいものばかりです。

超一流の講師の授業なら聞く価値はあるかもしれませんが、やはり基礎的な勉強に関しては参考書の方が値段もスピードも勝っていると言えそうです。



また、理数系科目や英国のハイレベルな学習に対しては、確かに参考書よりも授業の方が良いこともあります。それはほんの一部のみです。大学受験のほとんどは今や参考書で攻略できるといってよいでしょう。

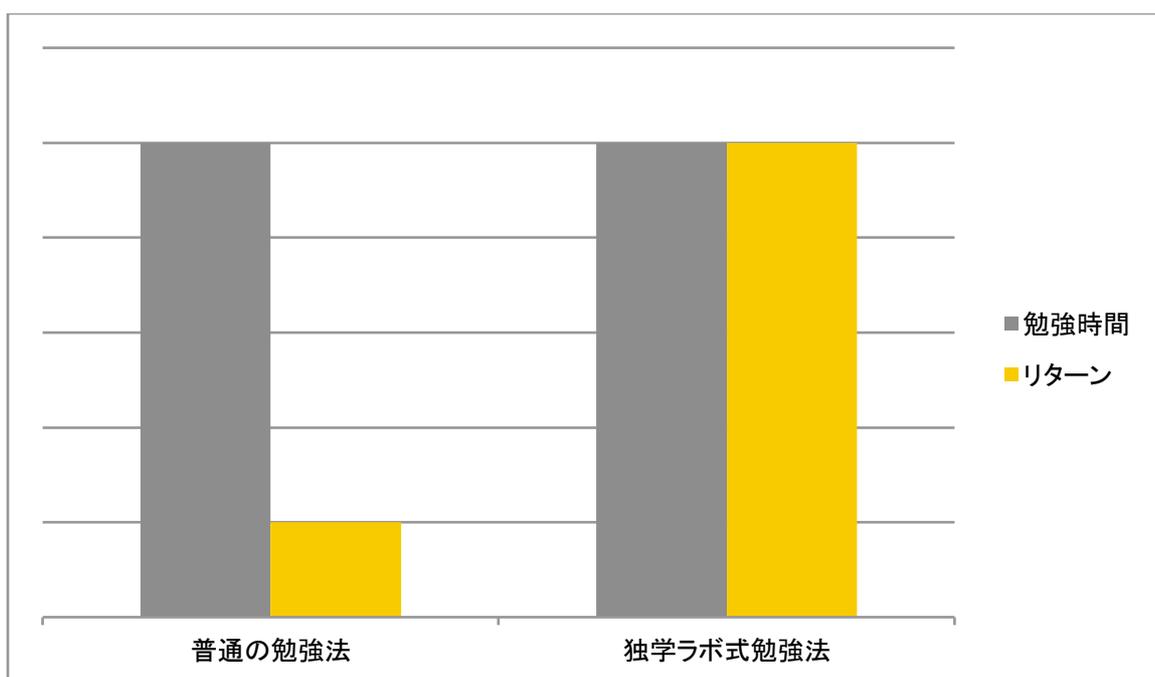
メリット②：「復習・反復を徹底する」「作業をしない」ことで、投資した時間の分だけ学力が向上する

あなたの成績が伸びない理由は、たいてい復習を怠っているか「作業を勉強と勘違い」のどちらかです。普通の人には10勉強しても、身に付いたものは1にも満たないことがあります。

独学ラボが提唱する勉強法ではとにかく「復習」を最重要視し、「何時間勉強した、何題解いた」ではなく「何を身に付けたか」のみを評価します。

あなたが何時間勉強したとか、1日20題も解いた、などは大して重要ではありません。「それで、今日勉強したことは入試に生きるの？」これだけを考えます。

徹底的に「結果」にこだわることで、投資した時間の分だけ学力を伸ばすことができます。



上図のように投資した時間の分だけ学力を伸ばすことができるのは復習の徹底と作業時間を極限まで減らすのが理由です。

英単語を覚えたいという時。英単語を覚えることが目標ですから、その目標に関係のない作業は全てムダと判断し止めさせます。

たとえばノートに単語をまとめたり、カード化したりするといった行動はあくまで作業。それらの作業をしても英単語は覚えられません。カードなどを活用してその後勉強することで初めて英単語を覚えられます。しかしたいいの人にはカードを作りっぱなしです。

また、カード化するなら最初からカード化された商品を買えばいいのです。このような時間の無駄、作業時間を許しません。

復習と作業時間を減らすことが、効率的な勉強法の最も基本的なものです（効率という言葉は実はふさわしくないです）。

メリット③：当たり前前事を徹底して説き、甘い考えを捨て現実的思考を身に付けさせるので迷わない

独学ラボでは楽に成績を上げる方法というのを提唱していません。苦勞して汗をかいて初めて学力を身に付けられるような勉強法を提唱しています。

もしあなたが「半年で早慶合格！」とか「2か月で偏差値20アップ！」といった類の勉強法を期待しているなら、この先を読み進めるのは無駄ですのでファイルを閉じてもらって構いません。



勉強でもなんでも、物事を身に付けるためにはある程度の我慢が必要。単調さに耐えることも必要。

試験で通用する学力を身に付けるためには、自分の力で、制限時間内に、スラスラと頭の中で完璧な思考回路をもって解答できるようにする。素振りのように何度も何度も。

勉強した内容は、何度も何度も身体が完全に覚えてしまいうくらい反復しなければいけない。私はそう考えています。

たとえば、あなたはスポーツをする時、以下のようなことを当たり前のように理解しているはずです。

- ✓ 基礎体力を継続的に鍛えていくことが重要である。
- ✓ 練習で何百回も反復した技術のみが試合で使える。
- ✓ 試合でも普段の練習でもメンタルが非常に重要である。
- ✓ 出来るようになるまで辛抱強く継続する忍耐が必要である。

スポーツでも音楽でも、本番で失敗しないためには何百回、何千回もの反復練習が必要な事は誰でも知っています。では勉強ではどうでしょう。



なぜ勉強では **10回も満たない復習でも OK とされている**のでしょうか。 **勉強はスポーツや音楽よりもカンタンにできるものなの**のでしょうか。

よく「勉強しても覚えられません」という受験生がいますが、その9割以上が単に何十回も反復(復習)していないだけなのです。

あなたは例えばバスケットボールのレイアップシュートを習得する時、顧問の先生やコーチに「コーチ、シュート練習を10回したのに全然うまくなりません。どうすればいいですか?」といった質問をするでしょうか。

勉強がよくできる人ほど、**勉強もスポーツと同じで「できるようになるためにはしつこいくらい反復が必要」と考えています。**

なぜ世の中に「簡単に楽に学力を伸ばす方法」があるかというと、単純にそのように言った方が儲かるからです。

「超きついけど確実に1年間で痩せるダイエット方法」というものを見て、やろうと思う人はほとんどいないでしょう。

本書を読んでくれているあなたは下手なキャッチコピーに惑わされることなく、確実に勉強していきましょう。

メリット④：受験のプロが執筆している書籍・コンテンツを惜しみなく紹介しているので正しい情報・勉強を知ることができる

正直に申し上げて、ブログや本書などのコンテンツにおいて、他の方のコンテンツを紹介するのは私の為になりません。

「私の指導が1番！私の教材が1番！」このように言わないと、私の為にはなりません。

しかし、私はまだまだ勉強するべきことがたくさんある未熟者だと自覚しています。

一方、10年も20年も大学受験に携わってきた「受験のプロ」が大勢いて、彼らの本などは本当に受験生の為になるものばかりです。

私のブログや本書を見てくださっているあなたの為を考えたとき、彼らのコンテンツを紹介しないことは「独学ラボ」のファンや閲覧者に対しての裏切りであるとさえ思っています。



だからガンガン本やコンテンツを紹介していますし、これからも紹介するつもりです。

例えば、天流仁志氏、原田将孝氏が執筆した

- 『親と子の最新大学受験情報講座 文系編』
- 『親と子の最新大学受験情報講座 理系編』

などは、予備校に通わないと（通っていても）まず手に入らない受験情報が目白押しです。個人的には3万円くらいは出しても軽くおつりがくるくらいの内容だと思っています。

それを2000円程度で買えるというのは、「合格格差は情報格差。都心と地方による情報格差による教育格差を是正したい」という先生方の素晴らしい理念のおかげでしょう。難関大学志望の受験生なら必ず持つておくべき一冊になっています。

他にも信頼できる書籍としては「和田秀樹氏」「牛山恭範氏」などのものがあります。彼らの書籍は（全てとはいえないものの）情報がたっぷり詰まっていて、役に立つ話を多くされています。

特に牛山先生の著作は「良薬口に苦し」という形容がピッタリの「受験生には耳が痛い、でも非常に重要な事」ばかりが書かれています。非常に誠実な方だということを感じます。

本書では、他にも勉強法関連の本を多くご紹介します。全て買えとは言えませんが、可能な限り全て目を通していただき、あなたの勉強法に役立ててほしいと思います。

本書の最後の「付録①」において、必ず読んでほしい勉強法の本をご紹介しています。時間を見つけてそれらの本を読み、ぜひあなたの勉強にお役立てください。

落ちる受験生のパターン

まずは失敗する受験生の特徴をいくつか挙げてみます。

特徴①：やる気がない・真剣さが足りない

受験勉強に限らず、スポーツや仕事あらゆる分野において、**土台となるのは本人のやる気や真剣度の高さ**です。

お金がなくて予備校に通えなくても、現状成績が低くても、やる気さえあれば大学には合格することができます。

逆に言うと、やる気がなければ予備校に通おうが良い授業を受けたり良い参考書を使ったりしても合格することは不可能です。

予備校に通っても成績が伸びない人は「本当に大学に行きたくて勉強していない」ことが多いです。

勉強はしているけど、本当に受かりたいと思っていないので勉強時間も増えないし、真剣に勉強しないので勉強内容を覚えることができません。

特徴②：自分の受験勉強を親や予備校に任せている

真剣さが足りないと、自分の受験勉強にも関わらず主体的に行動しません。なんとなく親に勧められた予備校に通い、なんとなく勧められた授業を取り、なんとなく勉強をします。

しかし、「なんとなく」で物事を成功させることは決して出来ません。

このように、主体的に受験勉強をせず、すべてを周りに任せている人は、受験の責任も周りに押し付けようとしています。

「予備校の授業がダメだから成績が伸びない」「参考書がダメだから成績が伸びない」「先生がウザいからやる気が出ない」

このように何事も周りのせいにしようとする「被害者になりたがる人」は決して合格することは出来ません。

なぜなら、周りのせいにしておけば、自分は何も変わる必要がないからです。

努力して自分を変えるのは大変だけど、責任転嫁してしまえば自分は何もしなくても「自己満足」「自己正当化」することが出来ます。

しかし、それでは現状を変えることは出来ないし、反省し自分を向上させることが出来ないのです。

勉強は「自分の弱点と向き合う事」の連続です。問題を解けない理由を自分以外の物に見出してしまうと、決して解けるようにはならないのです。

意外に重要視されませんが、受験勉強の責任を自分が負う、というメンタリティを持つことが受験の成功のカギなのです。

特徴③：「今からでも受かりますかね？」という質問をする

このような質問をする人も、自らの受験（あるいは人生）に対しての真剣さが足りません。

こんな人は、もし仮に「いや、絶対受からんよ」と言ったら、志望大学のレベルを下げるのでしょうか。他人に言われた程度で志望大学を変える程度の気持ち、真剣さなら初めから合格できないでしょう。

予備校でチューターをしている知り合いの話を聞いたことがあります。「うちの生徒は皆やる気がない。親がいないと授業も決められないし、家で勉強してこないから予備校でテストをしても全く点が取れない。予備校の授業を受けても復習しないから学力がつかない。志望大学のレベルは高いけど、学力と行動が全く見合っていない。」

塾や予備校に通っても、自習時間が増えなければ学力は絶対に増えません。上に挙げたような生徒は全国にたくさんいると思いますが、彼らの多くは学力を上げることができず、滑り止めの大学にも落ち、入れる大学になんとか進学するしかないでしょう。

どの予備校に通おうが、どんな勉強をしようが、あなたのやる気がなければ決して合格できません。つまり、受験生のあなたが常に意識してほしいのは「自分のモチベーションと覚悟を高め維持し続ける必要がある」ということです。

特徴④：結果の出ない勉強をしている

おそらくあなたは「自分は勉強しているのになかなか結果に結びつかない」と悩んでいるでしょう。なぜ勉強しても結果が出ないのでしょ

うか？
理由はいろいろありますが、最も多いのは「受かるための勉強をしていない。合格のための勉強ではなく【自己満足】のための勉強をしている」からなのです。

たとえばあなたは、普段から以下のような勉強をしていませんか？

- 目的もわからずにノートまとめをしている
- 英語の勉強でCDを使わず音読していない
- 復習をほとんどせずどんどん進める
- ひたすら英単語を書いている
- 単語カードを作るけど活用していない
- 先生に言われたので模試の解説を熟読しているが、何のために解説を読んだりするのか実はわかっていない
- 志望大学の過去問を見たことがない

もし上記に挙げたことをしているなら、あなたは「自己満足のための勉強」をしています。

あなたが勉強するのは「受かるため」「学力を上げるため」
ですよね。学力を上げることと関係のない作業は一切してはいけないのです。

実は結果の出す勉強法というのは特別な事ではありません。
スポーツや武道、音楽などの分野と大切なことは同じ。

たとえば野球をずっと続けて、すごく上手な人なら、野球が上達するために欠かせない大事な事が何かわかるはずです。

「基礎体力が土台」「徹底した反復練習しか上達の道はない」「試合のための練習」どのスポーツでも以上の3つは絶対欠かせません。

また、ただなんとなく練習をしても上達しない事もわかるはず。あなたの部活の中に、身の入らない練習ばかりしている人はいませんか。そういう人はハッキリ言って下手くそが多いはずです。

上達するために大切な事、必要な事はスポーツでも勉強でも全く同じなのです。

自己満足や「〇〇をやっておけば大丈夫」という【安心感】を得るために【思考停止状態】で勉強をしても成績は伸びないのです。

最近、英語の勉強で【音読】が流行っていますが、音読も目的とも目標をきちんと意識して行わないとただの作業に成り果てます。

「英語は音読しておけばOK」と思っている人は注意が必要です。音読は万能ではありません。音読はあくまで手段です。音読を目的化してしまうと、英語は途端に伸びなくなってしまいます。



大切なのは、常に考えること。学力をつけるために必要な事は何か。

今やっていることは「作業」なのか「勉強」なのかを意識しながら勉強しなければいけません。

特徴⑤：レベルに合わない勉強をしている

継続的に勉強は出来ているのになかなか捗らない人は、レベルに合わない勉強をしています。英語や数学で、参考書や教科書を読んでも全然理解できない…という事が多い場合は中学～高1レベルの内容に抜けているはずです。



このように、勉強には段階があるにも関わらず、踏むべきステップを無視して勉強しているから上手くいかないのです。

スポーツで考えればもっとわかります。中学生の野球部が、高校の練習に参加したとしたら、よほど身体能力が高い人でない限り、練習についていけないでしょう。すぐ身体が悲鳴を上げるはずですよ。

あなたが成績を上げるために必要な事は、中学レベル～高2レベルでマスターしていない勉強があると感じたら、勇気を持って戻ること。

自分が出来ていない事に誠実に向き合って復習することが成績を上げるために必要なのです。

独学ラボ式の全体像と手順

最初に押さえておきたい早稲田合格への流れ



早稲田大学に合格するには踏むべきステップがあります。以上の順番で勉強を進めることで確実に学力と合格マインドが身に付き、早稲田の過去問で合格点を取れるようになります。

あなたが真っ先にやるべきことは「やる気を出す」ということです。「やる気」はあなたが受験勉強を進める上でのガソリンだからです。ガソリンがなければ前に進むことは出来ません。

また「早稲田大学に合格するためには何でもやってやる」という**覚悟を持つことも必要です。**

よく私の元に受験相談に来る人が「現役で早稲田に合格できますか？」と質問をしてきます。彼らは現役で合格できないくらいなら、第二志望の大学に志望大学を変えるのでしょうか。

また、どう考えても来年合格できない人には2年計画で勉強することを言う事もありますが、そう言った途端に返信がなくなる人もいます。

彼らは本当に合格したいわけではなく「合格できるよ、大丈夫」という自分が満足できる言葉が欲しいだけなのです。(もちろん諸事情で浪人できない人もいますが、質問する暇があるなら勉強すべきです)

逆に、「何年かかっても構いません。できる事は全てやります。絶対合格したいです」といった覚悟が決まっている人は、最初の学力が低くても1年でスパッと合格することがあります。

あなたは志望大学への受験に対してどれほどの覚悟を持っていますか。

上に書いたような「合格マインド」を持っているかどうかで、合格率は大きく変わります。

①から⑨までのステップを1つずつクリアしていきましょう。それぞれのステップを「試練」と名付けています。1つ1つの試練を確実に乗り越えていきましょう。

試練その1: やる気を出す、合格マインドを手に入れる

早稲田大学に合格するなら、1年間勉強を継続するやる気が不可欠です。毎日泉のようにやる気が出てくる方法を解説します。

大学入学後にやりたいことがないと後悔する？！

あなたは、大学入学後にやりたいことはありますか？また、やりたい事をどれくらい具体的に考えていますか？

そして、大学卒業後にどんな仕事がしたいですか？どんな人生を過ごしたいですか？

大学は卒業後の人生のために行くもの。決してゴールではない

大学というのは、卒業後のあなたの人生を豊かにするために行くものです。決して大学入学がゴールではありません。

大学に入った後、大学を卒業した後の人生を具体的に描くことができなければ、やる気を出して継続させることは出来ませんし、入学後後悔することになります。

ここでは私の失敗談をお話させてください。私は早稲田大学を志望した理由が特にありませんでした。「なんとなくカッコいいから」とか「勉強しているうちにレベルの高い大学に行きたくなったから」とかそんな理由です。

勉強自体に楽しさを見出していたので、比較的よく勉強はできていたのですが、浪人中の失恋をして「おれは何のために勉強しているんだ？」と思うようになり大学受験をする理由がなくなっていました。

結果、浪人中の3~4か月間、勉強に一切手がかからないということになってしまいました。

運良く大学に合格することができても、入学後に特にやりたいことがなかったので、ダラダラした生活を過ごすことができました。

そのダラダラした期間、停滞していた時期も私にとっては大事だと今は感じているので良いですが、大学在学中にやれることはもっとあったと感じてしまいます。

「やる気が出ないんです」とあなたがお悩みなら、まずは大学入学後の人生プランを具体的に描くことから始めましょう。

やりたいことがないなら大学に行くべきではない？！
これからの時代は「明確な志望理由があってこそ」大学に行くべきものだと思います。

大学全入時代。お金があり、レベルを問わなければ、誰でも大学に入れる時代だからこそ「おれは大学でこれがしたいんだ！」と強い動機を持って入学してほしいと思います。

もちろん、私のように、大学に入ってからやりたいことが見つかる人は幸運です。しかし、大学を卒業してもやりたいことが見つからず、大学に入ったことを後悔する人もいます。

早稲田生でも、入学を後悔している人はいます。慶應生でも東大生でも、自分の進路に後悔している人はいます。贅沢な悩みとあなたは思うかもしれませんが、ただ、大学に行くことがゴールだった人は、どんなに良い大学に入っても後悔してしまうことがあります。

日本の大学の中退率は10%にも上ると言われています。この数字は今後さらに上がるかもしれません。受験だけでなく受験後まで視野を広げてみてください。

やりたいことが見つからない人は「大学に入っているいろいろな事を体験して、やりたいことを見つける」ことを人生プランに入れておくといいでしょう。

早稲田大学に入ってからやりたいことリストを作れ！

さて、ここからは実践です。ペンを用意してください。

早稲田に入ってから勉強したいこと、入りたいサークル、受けたい授業、やりたいバイト、行ってみたい旅行先、なんでも構いませんから具体的にたくさん書いてみましょう。

早稲田生の必読書、マイルストーンを手に入れろ！

早稲田生がサークルや授業の情報を手に入れる時の定番の本があります。その名は

「[Milestone Express](#)」。サークル情報はなんと **1000 個!**

(非公認を含めると **3000** のサークルがあるらしい)。



授業の情報も全学部あります。「この授業は面白い」「この授業は楽単」みたいな情報がまとめられています。

他にも早稲田生なら知っておかなければならない「用語」や「常識」「作法」についての情報も書かれています。

一部、いろいろな自虐ネタや女性の早稲田生をイジる(愛をこめて)表現もあり、万人受けはしないかもしれませんが、受験生でも十分楽しめる内容になっています。

早稲田大学付近の書店でしか取り扱っておらず、3月~5月頃には買わないと手に入りにくくなります。買える人はぜひ早稲田に赴いて購入しましょう。

マイルストーンを読むだけでも楽しいですし、入りたいサークル、受けたい授業も見つかるかもしれません。

入学後のイメージを作ることが出来れば、モチベーションは大きくアップします。

大学卒業後、過ごしたい最高の人生を思い描く

あなたは大学卒業後、やりたい仕事はありますか？どこに住み、どんな仕事をして、どんな人と遊び、どんな人と一緒になりたいですか？ノートに10個くらい具体的に書いてみてください。

医者になりたい。教師になりたい。〇〇銀行に入りたい。自分でビジネスをやりたい。東京の一等地に住みたい。

「いまあなたができること」ではなく、あなたが想像できる限りの最高の人生を思い描いてください。

実際はもっと具体的に書かなければいけません。何科の医師になるのか、どこで勤務したいのか、どの科目の教師か、どの学校で働きたいか。どんな授業をしたいか。こういう資格をいつまでに取って、いつまでに起業し、いつまでに年商何万、どういう業種でやりたいのか。

上のようにおおざっぱな内容ではなく、可能な限り具体的に書きましょう。

京大講師 JUN の爆発的にやる気を出すための動画

ここで、交流があり私自身がセミナーにも参加している、京大講師 JUN さんの動画を紹介させていただきます。

受験勉強において何よりも「マインド」を重要視し、「大学入学後の人生のための大学受験に重きを置く」という全く新しい価値観を打ち出している人です。『勉強の結果は「机に座る前」に決まる』というベストセラー本も出されています。

「動画：[どうしても動きたくなるやる気を作り出す技術](#)」

この動画をじっくり見て考えて、自分の受験ノートなどに「〇〇%の人生」「〇〇%の人生」リストに書き込んでください。ファイルの最後の「付録」の章にもシートを用意しています。

合格者のマインド：被害者ではなく主体的な人間になれ！

世界的な大ベストセラー『7つの習慣』において、以下のよう
なことが述べられています。

成功する人間はすべて主体的である。まわりの環境や自分ではどうしようもないことのせいにするのではなく、自分を変えていける人のみが仕事でも人生でも成功することができる。

私は大学受験においても主体的な人間しか成功しないと考えています。 100人以上の受験生を見てきて確信しています。

- 親がうるさくて勉強に集中できない
- 学校の宿題が多くて受験勉強に手を付けられない
- 教師がウザい。教師のせいでやる気がなくなる。
- 自分の頭が悪いのは親のせいだ。
- 予備校が合わないから成績が上がらないんだ。
- 模試で隣の席の奴がうるさくて集中できなかった。あいつのせいだ。

こういった受験生はほぼ 100%受験に落ちます。何かを改善するためには、環境ではなく自分を変えるしか方法はありません。

周りの環境を変えることは困難ですし、そもそも変えることは不可能であることが多いからです。

自分の頭の悪さを親のせい（家系や遺伝子のせい）にしても、問題は一生解決しません。遺伝子を変えることは出来ないからです。自分の気持ちを慰めるだけの行為です。

親がウザいとか学校がうるさいというのは変えづらい問題です。しかし、それらの問題に対しての態度・考え方は自分の問題なので、変えることができます。

誰かのせいでやる気がなくなつたと感じる人は、その考え方自体が自分自身のエネルギーやモチベーションを下げていることに気付いていません。

あなた自身が大人になって「仕方ないなあ」と笑えるくらいの度量を持てる人は、どんな逆境にあっても合格できるものです。

実践編①：普段のあなたの口癖、周りの人間の口癖を観察しよう

あなたが主体的か、被害者的（反応的）かを知るには、口癖を観察してみるといいでしょう。



普段から周りの愚痴ばかり言っていないませんか？周りが悪いから～という事を言っていないませんか？

このような事をよく言っているなど感じたら、少し立ち止まって考えてみましょう。すぐに全て変えることは難しいです。習慣なのですから。

ネガティブな言葉、周りのせいにする言葉があなたのメンタルや受験勉強にも影響していることを意識して、物事を言う前に、少し立ち止まって考える癖をつけてみましょう。

実践編②：被害者的思考から抜け出して、主体的でエネルギーギッシュな人間になろう

次の表をご覧ください。

被害者思考

- 自分は頭が悪い
- 貧乏なせいで予備校に通えない
- 先生がむかつく。何を言っても話を聞いてくれない
- 親がむかつく。自分のことをわかってくれない
- あの人の言うとおりにやっても上手くいかない。ダメな奴だ
- 模試で隣の奴がうるさかった。あいつのせいで失敗した
- 頑張ったのに落ちた。〇〇予備校はダメだ

主体的思考

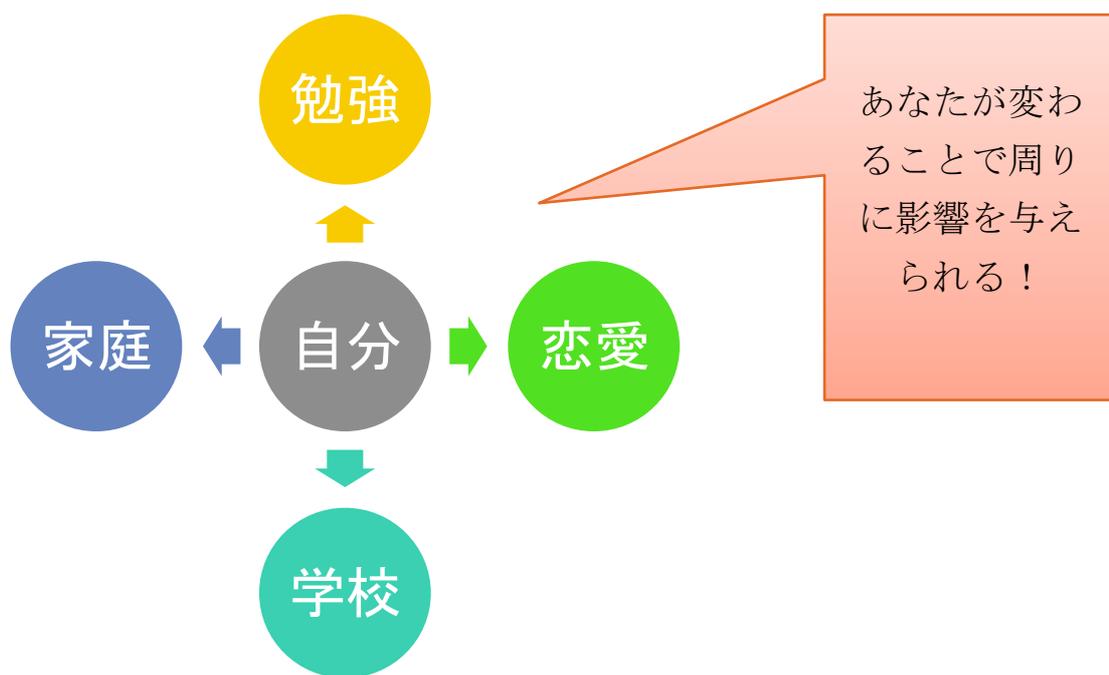
- 受験は要領と努力
- この年でお金の大切さを知れるなんて幸運だ
- この機会に苦手な人と摩擦なく付き合えるように練習しよう
- まず親の言い分と気持ちを理解してみよう
- 言われたとおりに100%実行できているか確認しよう
- もっと集中力を鍛えよう。あえてうるさいところで勉強してみよう
- 自分の〇〇が足りなかったな。大学ではそれを修正して頑張ろう

受験勉強の中でつい「被害者思考」をしてしまうことはよくあります。

でも、それは本当に周りのせいなんですか。あなたのちょっとした工夫や努力、気遣いで解決できる問題ではないでしょうか。

あなたが昔から被害者的な考えを習慣としていたとしたら、たぶん私の言っていることは理解できないでしょうし理解したくないと思います。

ここであなたに覚えておいてほしいのは、物事を良い方向に導くためには、あなた自身が変わる必要があるという事。



何か物事を改善したいなら、周りが変わって【くれる】事を期待するのではなく、自分の努力次第で変えていくんだ！という風に考えてみましょう。

今すぐに変わらなければいけない訳ではありませんが、まずはこの事を知って、普段のあなたの思考や言動を観察してみてください。

上に書いたような主体的思考は「単なる都合の良い思い込み」と思うかもしれません。

でも、それでいいじゃないでしょうか。少なくとも、人のせいにするよりはよっぽどカッコいいし、建設的な考えが生まれます。

いつも周りの文句ばかり言っている人と、決して周りの文句は言わない人、あなたはどちらと友達になりたいですか？ 普通に考えれば後者ですよ。

「合格する受験生」と「人間的に成熟した人」はほぼ同じと考えてもらって構いません。あなたが合格したいなら、**学力だけではなくて精神的に・人間的に成長する必要があるのです。**

その第一歩として（大きな一歩です）、普段ついしてしまっている「被害者思考」から抜け出して、主体的でポジティブな思考を1個ずつできるようにしていきましょう。

周りのせいで自分の受験勉強、人生すらも上手くいっていない！と考えたりしているなら、ぜひ私にご相談ください。

試練その2: 合格理論を知る

ここでは、合格するために最低限押さえておかなければならない事をお話しします。理論①、②、④では「常識化する」という言葉を使っています。

私が言っている**合格理論は何も特別な事ではなく「受かる人にとっては常識、当たり前」のことなのです。**

受験生の中で合格した人の特徴を挙げてみると、不思議とみんな共通点があるのです。それを解説します。

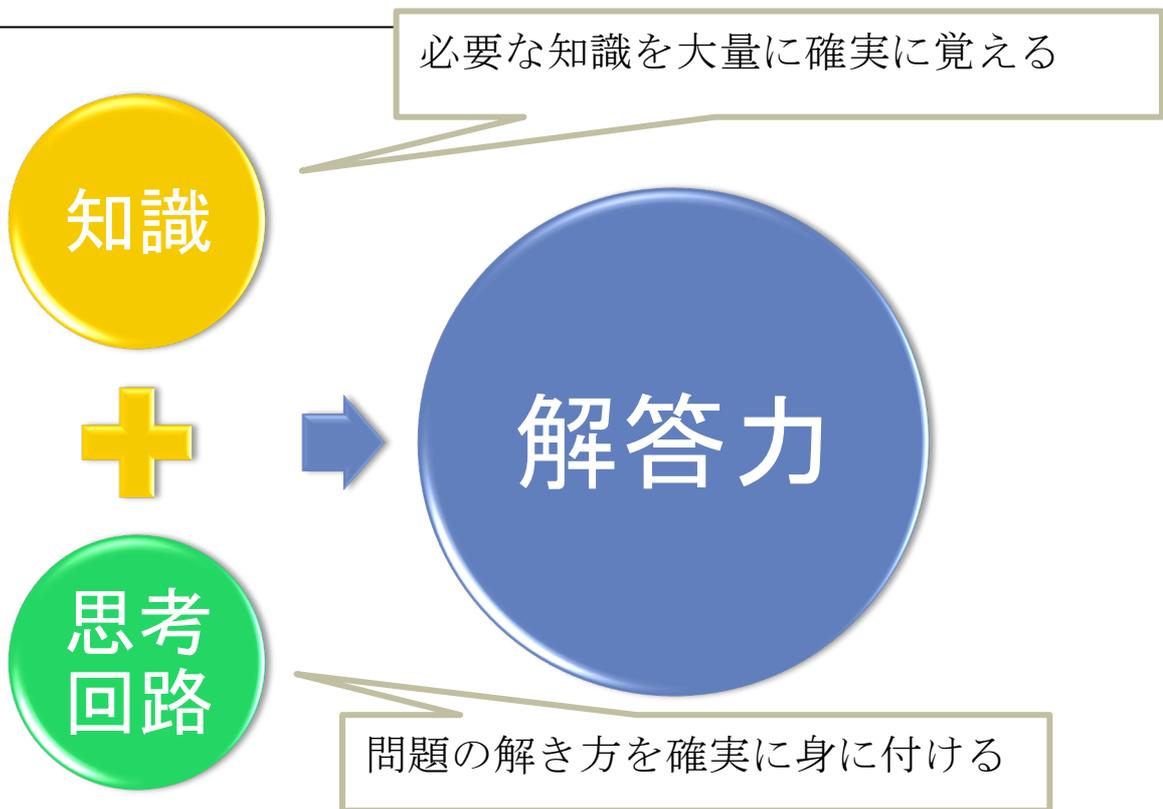
これを読んでいるあなたも、繰り返し強く認識することで、それぞれの理論を常識にしてください。

理論①：試験で得点するには2つの力をバランスよく伸ばすだけでいいことを常識化する

あまりに当たり前のことですが、勉強=覚える事と言ってもいいくらい、**試験で合格するには大量に記憶しなければなりません。**

また、**知識を運用して正解を選ぶ思考回路を身に付けることも必要です。**丸暗記で解ける問題は少ないからです。

【知識】 【思考回路】 この2つを伸ばすことで解答力が身に付きます。



実は試験勉強は、この2つの力を身に付けるだけでいいのです。非常にシンプルなことがわかるでしょう。あなたは大量に覚えて、問題の解き方を身に付けるだけでいいのです。

とはいえ、大量に覚えたり解き方を身に付けたりするためには、必ず押さえておかなければならないポイントがあります。それは「試練その4」で解説します。

大切なことは、知識と思考回路の2つをバランスよく鍛えていくという事です。

知識だけ増やしてもダメだし、思考回路ばかり増やしても土台となる知識がないと意味がありません。

知識は入試当日まで毎日継続して勉強するものです。走り込みや筋トレと一緒に。解答力は実際にコートに入って行う練習のようなイメージです。

暗記の基本：覚えるためには理解とイメージと反復！

ここでは基本だけお話しします。ポイントは3つ。

- まずは理解すること
- イメージをつけること
- 身体で覚えるまで反復すること

暗記とは言っても、理屈も何もわからず丸暗記だとすぐに忘れてしまうものです。理解が必要な場合は徹底的に理解すること。

勉強しても全く記憶していない人の多くは丸暗記で済ませていることが多い。英文法は「なぜこうなるのか」を理解していない。数学の公式の意味を理解していない。なぜその公式を使うのか理解していない。

人は数字の羅列など、無意味なものを覚えることが出来ません。「なぜ（その答えになるの）？」と疑問を常に持ち、意味や理由を考えながら記憶しなければいけません。

次にイメージ。文字を見て映像が浮かぶようにします。

たとえば英単語を覚える時。Apple という単語を見ると、頭の中にリンゴの映像が出てくると思います。これが、イメージが身についているという事。

同じように、英単語を覚えるときは出来るだけ「どのような場面で使われるか、どんなものか」をイメージできるようにします。動詞ならば実際に体を動かして覚えるのも有効です。

「dig」という動詞なら実際に掘る仕草をしながら音読。

歴史の勉強なら、文字ばかりの教科書だけで勉強するのではなく、まずマンガでイメージをつかんでしまう。

ナポレオンや洪武帝など、文字だけじゃよくわからない人物も、絵や写真で覚えておけば格段と覚えやすくなります。マンガのキャラクターってすぐ覚えますよね。歴史も漫画を先に読んでおけば記憶率が格段と上がります。資料集も常にチラ見しながら勉強します。

最後は反復です。理解してもイメージを持っても、やはり反復しなければ覚えられません。理論②でも述べていますが、ここでは反復練習でのポイントをお伝えします。

5回～10回まずは繰り返す

「問題⇒答え」をスラスラ言えるまで

反射的に答えられるようにする

最終的には、早押しクイズのように反射的に答えを言えるようになるまでトレーニングを行うことが重要。

そこまで覚えきる事をしないと、すぐに忘れてしまいます。

「suggest」という単語を見た瞬間には頭の中に「提案する！」と浮かぶようになるまでトレーニングします。

思考回路形成の基本：解答までのプロセスを解説する
問題を解けるようになるためには、【学校の教師や予備校講師】の思考回路を身に付けることが大切です。

そして、その思考回路を身に付けるための勉強法は「問題の解説」です。

「なぜその答えになるのか」を自分で説明してみるのです。これを『[学習の作法](#)』著者の天流先生はシャドウティーチングと呼んでいます。

文法

根拠を持って答える

解釈

構造を解説する

長文

根拠を持って答えを選ぶ

数学

解答までのプロセスを解説

あらゆる問題は、シャドウティーチングという勉強法で身に付けることができます。逆に言うと、ただ問題を解いて答え合わせして解説を読んで終わり、ではなかなか力はつかないのです。

自分で根拠を持って解答できるようになるまでが勉強です。

理論②：学力を上げるためには、復習以外に方法はないことを常識化する

理論①で述べた2つの力を確実に身に付けるためには、復習する以外に手段はありません。

繰り返し述べてきたように、試験本番であなたが頼れるのは「何十回も反復して身体で覚えてしまった知識や思考回路」しかないのです。付け焼刃の知識は何の役にも立ちません。

あなたは、スポーツでの試合前日などは何をしますか？新しいテクニックの習得？それとも基本テクニックの確認？

ほとんどの人は基本的なパス、ドリブルなどの反復練習をして確認・調整するでしょう。

勉強でも全く同じです。中途半端に覚えた知識は試験本番では役に立ちません。また、身体で覚えるレベルまで基本事項を反復しなければ、そもそも上達などあり得ません。

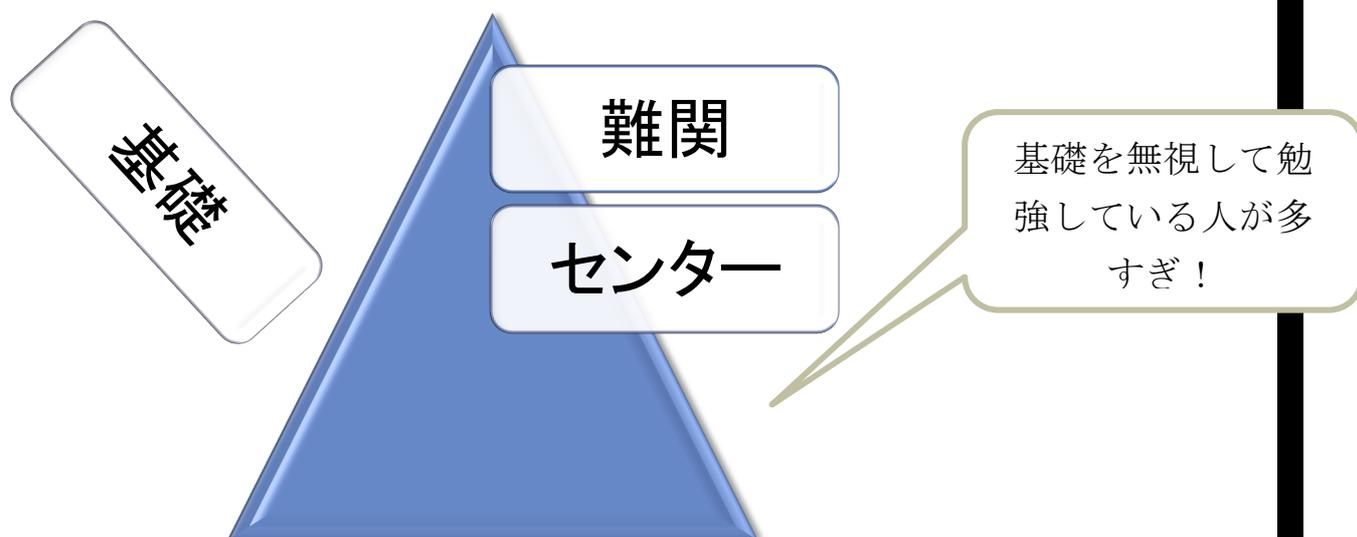
個人的な経験ですが、およそ8割以上の受験生がまともに復習していません。そしてほとんどの塾・予備校も、復習を徹底させるように指導したり、自動的に復習できるようなシステムを運用したりしていません。

予備校に通っても成績が上がらない人がたくさんいるのは、これが一番の理由です。授業を受けるだけで復習しないから学力が上がらないのです。

理論③：学力レベルに合った勉強を「背伸びせずに素直に」行う

積み重ねを無視するから伸びない

勉強を一生懸命しても成績が上がらないもう一つ大きな理由として、自分のレベルに合っていない勉強をすることが挙げられます。下の図をもう一度見てください。



具体的には、中3～高1の学習内容が抜け落ちている事が多い。中3～高1の内容は難易度が高いので、きちんと理解して覚えていない人が多いのです。

最初にこのレベルをしっかり復習しておけば、大学受験レベルの勉強をスムーズに進めることができます。

私は大学受験の英語でほとんどつまずいたことはありません。それは最初に中学レベルの英語を徹底的に1か月かけて復習したからです。

大学に入って数学を勉強した時もまずは高校入試レベルの問題を確実に完璧に解けるように復習しました。おかげでセンターレベルの数学の勉強もサクサク進めることが出来ました。

一見遠回りに見えますが、基礎レベルを先に固めておいた方が結果的には効率的に勉強を進めることが出来ます。

基礎学力を軽視する人は決して伸びない

しかし、私がブログなどでしつこく基礎レベルの重要性を説いても「まあだいたい出来ているから、やらなくてもいいですよね？」と言う人もいます。

中学レベルの勉強をするのは恥ずかしいのでしょうか。「聞かぬは一生の恥」ではないですが、自分が出来ない事と正面から向き合わない人は何をやっても上達しません。

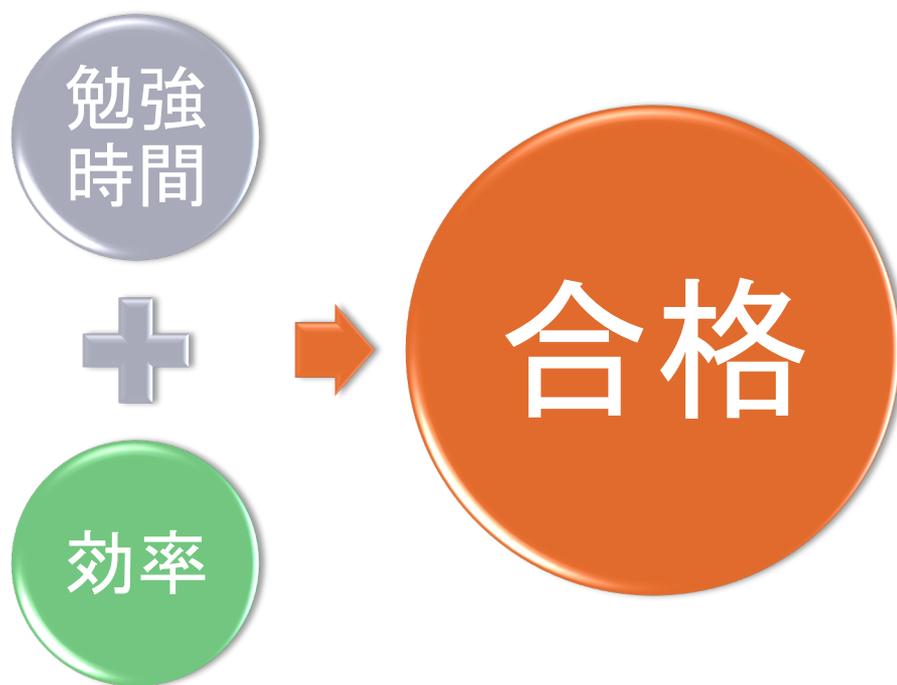
あなたが部活やスポーツの経験があるならわかるでしょう。基本トレーニングをサボる人が決して上達しない事を。

また、中学生が高校生のハードな練習を無理して行くと、怪我をしてしまう恐れがあります。基礎トレーニングもまともにできない人が高等テクニックを扱うことなどできません。

ほとんどの高校生が中学レベルの基礎体力が完全ではないまま、無理して背伸びして高校レベルの勉強をしているのです。勉強ですから実際に怪我をすることはありません。だからこそ、その過ちに気付きにくいのですが、無理な勉強をしている人はとても多いです。

理論④：合格するには結局「誰よりも長く勉強し誰よりも効率的に勉強する」必要がある事を常識化する

合格する受験生の中ではとある常識があります。



受かるためには最高の効率で誰よりも勉強する必要があります。よく考えれば当たり前の話。

勉強時間だけ増やしても受かるとは限らないし、効率的でも1日2時間程度で受かるわけありません。

超進学校の生徒や、一流の受験生は「結局受験勉強は長時間勉強しないと話にならない」ということをよく知っています。

あなたは「半年で合格！」といった言葉のみを鵜呑みにすることなく、「効率的にたくさん勉強しよう！」という当たり前の原則をスローガンにしましょう。

試練その 3: 現状学力を測る

受験技術本を使って基礎学力を測る

ここでは本を使って実際に基礎学力を測っていきます。『[学習の作法 実践編](#)』という本には英語、現代文、数学の基礎学力テストが掲載されています。まずはこの本のテストを解いて、自分に足りない力を確認しましょう。



基礎学力にモレがある事を知って、あなたはどうしますか

テストを解いて、あなたはいくつ失点したと思います。

- まあたった 1、2 の失点だし、大したことないよね
- どこか覚えたつもりになっていたんだ、きちんと復習だ

テスト結果を見て、あなたがどう感じるかで、学力の伸びやすさ、合格しやすさはわかります。後者の方が伸びやすいです。

前者のタイプは、普段の勉強でも「わかったつもり」「覚えたふり」をするクセがあります。こういう人は決して学力を伸ばすことは出来ないし、限られた時間の中で合格点を取れるようにはならないでしょう。

私はテストを解かせて、素直に基礎学力を固めようとしなくて、復習しようとしても本気でやらない人に対しての指導はしないことにしています。どうせ受からないからです。

中学レベルの復習は 1 か月以内で終わらせろ！高校レベルの勉強と並行でさらに復習しろ！

さて、中学レベルの復習が必要な人はしっかりやるべきだという事をお話ししましたが、いくら中学レベルが重要とはいえ、ダラダラやってはいけません。

あなたが受験生なら 2 週間～1 か月の間で集中的に復習し終わらせてください。その後、2 か月目もちょうくちよく復習しつつ高校レベルの勉強を並行し、中学レベルを完璧にします。

中学レベルの勉強

2週間～1か月でまずは一通り勉強する。その後、高校レベルの勉強もしつつ中学レベルのテキストを復習してがっちり覚えていく。

高校レベルの勉強

『基本はここだ』『スマートリーディング』などを勉強するのと並行で『中学英文法を修了するドリル』を復習していく。

中学レベルから勉強しなおす人は上の図を参考にしてください。

合計で 2 か月くらいの期間を持って中学レベルの復習を行い、2 か月目には高 1 レベルの勉強を進めていきます。もちろんあなたが勉強に投資できる時間によりますが、受験生ならダラダラ進めてる余裕はありません。

試練その 4: 勉強法の大原則を学ぶ

勉強法の良し悪しで成績が決まる?! まず勉強法を学ぶ理由とは

学力を上げるために、**最初に勉強法を学ぶことはとても重要です**。正しく結果の出る勉強法を学ばなければ、決して成績を上げることは出来ないからです。

私のブログに相談に来る受験生の中には、毎日3時間以上の勉強を1年間続けたにも関わらず偏差値が1も上がらなかった人がいます。

また、浪人して予備校に通い、毎日8時間の勉強を続けたが、偏差値が50⇒55までしか伸ばすことができず、志望大学に合格できなかった人もいます。早慶上智志望だったのにマーチすら受からなかった人もたくさんいるでしょう。

早稲田大学に合格するためには、間違った勉強をしては絶対にいけません。**変なクセが付く前に正しい勉強法を学ばなければならないのです**。

また、難関大志望の受験生の多くが6時間～10時間という長時間の勉強を当たり前のようにしてくる中、**ライバルに勝つためには圧倒的に効率の良いやり方で勉強する必要があります**。

勉強はスポーツと同じ！体育会系メソッドの重要性

私は、勉強はスポーツや武道などと同じだと考えています。

学力を伸ばすために必要な事は、スポーツで上達するために必要な事と全く同じなのです。

- 基礎体力が大事⇒勉強でも基礎暗記が大事
- 反復練習が大事⇒勉強でも反復が不可欠
- 試合の結果が大事⇒模試、入試本番で結果を出す事が大事
- 普段の練習は試合のため⇒普段の勉強は入試本番のため

勉強のこととなると、人はなぜかスポーツなどで大事なことを忘れてしまいます。

「復習は3回でいいですよ？」こういう質問をする人は、「レイアップシュートは毎日3回やればいいですよ？」という質問をする事と一緒に。もしあなたがバスケット部なら、こんなバカらしい質問をする人なんていないだろうと思うはずですよ。

しかし勉強になると、上達のために必要な当たり前の事をいつい忘れてしまうのです。

あなたが勉強のことで悩んだときは、常にスポーツや武道、音楽など自分が熱中したことのあるものに置き換えて考えてみる事が大切。

スポーツで優秀な成績を取ったことがある人は、勉強を始めると短期間で学力が向上しやすいです。

これはスポーツで得た「上達の原則」を勉強に当てはめただけのことが多いのです。

特に私が強く言いたいのが、受験生は反復（復習）についての認識が甘すぎるということです。

4回やればいいのか、5回やればいいのか。何か物事を習得するには、4、5回程度の反復では全然足りないのです。

ドリブルやシュートなどを考えてみれば、10回20回でも全然足りないことはすぐにわかるでしょう。

もちろん100回とか200回やれよ、と言いたいわけではありませんが、回数にこだわるのではなく、身に付けられたかどうか。体に叩き込めたかどうかを考えるべきです。

そして完璧に習得するために100回の反復をしてもよいという覚悟を持って下さい。（英単語や計算などは実際に100回以上繰り返すこともあります）

以上のように、私は体育会系をスローガンに勉強することをおすすめしています。これは決してただ気合いだけで頑張ろうという意味ではありませんので注意してください。

身体で覚えるという最後のポイントは、目で読むだけの勉強は極力するな！という事です。

暗記するときや参考書を読み込んで理解するときも、声に出したり手を動かしたりしましょう。

たとえば英単語を覚えるときに単語帳をただ眺めるというのは言語道断です。聴く、発音するといった動作を交えなければ身体で覚えられません。常に身体を使って覚えるということを忘れずに勉強です。

あなたの勉強の常識は、私にとっての非常識。凡人の非常識こそが一流の常識だということを知れ！

人によって「常識」というのは違います。それは勉強でも同じで、下の2つはかなり違うことがあります。

勉強が苦手
な人の勉強
法の常識

優秀な人の
勉強法の常
識

この2つはかなり違うことがあります。たとえば以下に挙げることはあなたにとって常識ですか？

- 英単語は必ず CD を使って発音して覚えている
- テキストの英文はスラスラ読めるようになるまで 10 回、20 回とくりかえし音読している
- 文法問題では「構造把握⇒和訳⇒問題を解く」という手順を徹底する。
- 文法問題でも音読を繰り返して覚えている
- 英文解釈では「節の把握⇒句の把握⇒SVOCM の把握⇒修飾・被修飾の把握」といった手順で英文を解説できるようにしている

- 現代文では必ず「根拠を持って」スラスラ解けるようになるまで復習している。
- 古文では単語と文法を抑えたうえで文章を何度も繰り返し音読している。長文を10回、20回と読み込んでいる。
- 漢文も繰り返し音読するのを基本としている。同じ文章を10回、20回と何度も読み込んでいる。
- 数学の基礎計算トレーニングでは制限時間を設けて全問正解できるようになるまで反復練習している。
- 「平方完成」「微分」などの意味、目的などをきちんと理解している。
- グラフや図を正確かつ丁寧に描いている。
- 違う問題でも解けるように解法を抽象化し「公式の使い方」を理解し「思考回路のプロセス」をしっかりと覚えている。
- 理社の用語は全て「即答」出来るまで覚えこんでいる。
- 歴史はまず流れをしっかりと理解し、簡単に説明できるようにしている。

もし「いやいや、こんなの聞いたことないし…」と思われたとしたら危険信号です。

勉強が得意な学生にとっては、上に書いたことは【当たり前】の事なのです。これらは学力を上げる上では絶対欠かすことの出来ない原則です。

勉強が出来る人と出来ない人の違いは、これらの「常識」の違いが大きいのです。あなたが成



績を上げて早稲田大学をはじめとする難関大学に合格したいなら、**勉強法の原則、学習の作法を「特別なモノではなく当たり前のモノ」にする必要があるのです。**

『**学習の作法**』では、進学校の優秀な学生が当たり前のようにやっている勉強の常識を学ぶことができます。

この本を繰り返し読み、普段の勉強に取り入れましょう。

【必読】絶対やってはいけない勉強と、絶対に成績が上がるシンプルな勉強法の原則

勉強しても学力が上がらない人の特徴として、**勉強ではなくただの作業を勉強と勘違いしている**ということが挙げられます。

以下に挙げるのは学力が全く上がらない人の勉強の特徴です。

英単語を唱えずひたすらノートに書いている

長文問題を解いて、答え合わせして終わり

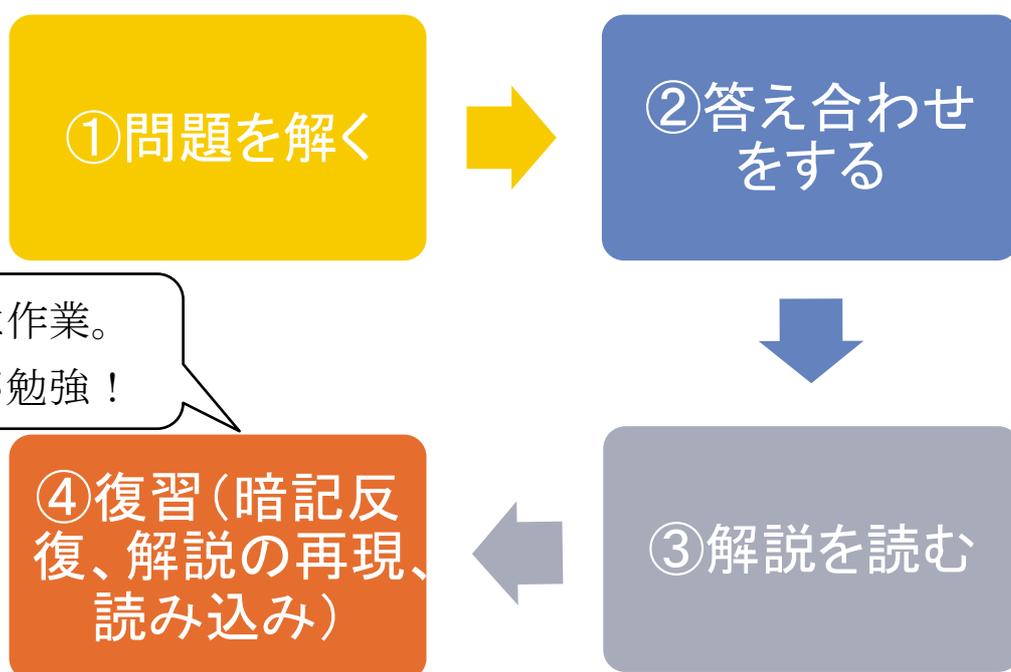
単語カードを作って、終わり

まとめノートを作っているが復習しない

これらはすべて勉強ではなく【作業】です。作業をしても学力は上がりません。

もし、あなたが上のような作業ばかりしているとしたら、成績が上がらないのは当然のことなのです。

以下は基本的な勉強の流れと、勉強の内容が身に付く段階を図式化したものです。



①～③は作業。
④こそが勉強！

多くの人は「①～③の作業」を勉強と勘違いしています。

①～③までの作業をいくら繰り返しても学力は一向に付きません。その後に行く**復習こそ、学力を上げるための「勉強」**なのです。

あなたがテニススクールに通っていて、コーチにサーブの打ち方を教わったとしましょう。2時間のレッスンが終わりました。

そこであなたは満足してサーブの練習をしないまま帰りますか、それともサーブの打ち方を忘れる前に体に覚えこませるために、自主練習をしますか？

当然、力が付くのは自主練習の段階です。自主練習での反復でしか、力をつけることは出来ないのです。

もしあなたが、学校や予備校の授業を受けるだけで、復習をしていないなら、あなたは勉強をしているのではなく、ただの作業をしているにすぎません。

私は学力の上がらない作業を「お勉強」と言っています。

ここで【勉強の目標】を挙げてみましょう。

- 単熟語暗記は即答できるようになるまで反復する
- 文法問題は自分で根拠をもって解答できるようになるまで反復する
- 英文解釈は自分で構造を解説し、英文を音読し、和訳できるようになるまで反復する
- 英語長文は CD 音声に合わせてスラスラ音読しながら文章内容を理解できるようになるまで反復する
- 長文問題は自分で根拠をもって解答できるようになるまで反復する
- 現代文は自分で根拠をもって解答できるようになるまで反復する

- 古文漢文の長文問題は自力で根拠をもって解答できるようになるまで反復する、文章内容をスラスラ読めるようになるまで繰り返し音読する
- 数学の計算練習では制限時間内に満点を取れるようになるまで反復する
- 数学の問題演習では制限時間内に完答、かつ解答までのプロセスを説明できるようになるまで反復する
- 社会では用語を即答できるようになるまで反復する

どうですか？これは私にとっては常識で、いちいち意識すらしていないことです。

「ここまでやってないわ…」という人も大丈夫。これから意識して勉強し、常識にしていけばガンガン成績は上がるようになります。

入試本番のためだけに勉強しろ！自己満足と安心のための勉強をするな！

さて、ここまでで、だいぶ勉強法のことわかってきたと思います。しかし、正しく勉強しているつもりでも、成績がなかなか上がらない人もいます。

一見すると特に問題のない手順で勉強できています。反復もするし、解説の再現もしている。でもいざチェックするとできてなかったり、模試では散々な点数を取ったり。

それは「自己満足のための勉強」「本番を意識していない勉強」をするからです。

確認しましょう。あなたが受験勉強をしているのは、**来年の大学入試本番で合格点を取り、大学に合格するため**ですよね。参考書を10周するためではなく、予備校の授業を受けるためでもありません。

参考書の問題を毎日10題解く

英単語を毎日100個触れる

長文を毎日3題こなす

一問一答を覚える

これらの勉強をしてさえいれば受かる、という事はありません。仮に毎日大量の問題をこなしても、結局覚えなければ意味がありません。**試験本番で問題が解けなければ意味がないのです。**

英単語を100個、英熟語を100個、文法問題を50題、長文を3題と、勉強のノルマを量で決めることは悪いことではありません。

しかし、それらの【ノルマをこなすことが目的】になってしまうと、途端に勉強効率は下がってしまいます。

チャート式を毎日5題やっても受かるとは言えません。毎日勉強する問題をきちんと習得し試験で使える形で覚えなければ意味がない。

もしあなたが模擬試験や実践問題集などで思った通りの得点
が取れないなら、自己満足の勉強をしているかもしれません。
試験本番で解けなければ、勉強の意味がないのです。

よく「ポレポレは5周すれば大丈夫ですよ？」とか「英単語は毎日
100個のペースでやればいいですか？」といった質問が来るので
すが、それらは全て「完璧に習得する」という観点が抜け落ちています。

仮に、毎日15時間勉強して、大量の問題をこなしても勉強
した内容をあなたが身に付けていなければ全くのムダな
のです。

あなたは本番で合格点を取るために勉強をしているはずで
す。「これくらいの量を勉強すれば大丈夫」「こういう風に
勉強すれば受かる」といった【安心感】を得るために勉
強しているわけではないのです。

これを池田潤氏は「形式と実質」という言葉で表現されてい
ます。これは実の的を射た表現で、スポーツでも勉強でも形
だけの練習に意味はありませんよね。

試合で勝つ技術を習得するために練習するわけであって、
「毎日シュート練習を100回やればOK」というわけではな
いはずで

もちろん量も大事ですが、それ以上に1回1回どれだけ
集中して練習できるかが重要なはずです。

私が好きな『Baby Steps』というテニス漫画があるのですが、その
中で登場するコーチがこういうことを言っています。

「テニスは球を打った時の感覚とその球がどこに落ちたかという認識」「このふたつが備わった確かな1球を打ってはじめて上達する。この1球の蓄積こそが上達なんだ」「たくさん練習してもただやみくもに打ってるだけじゃ上達しないんだよ」

この理論は勉強でも全く同じ。やみくもにがむしゃらにたくさん勉強しても成績が上がるわけではありません。

確実に身に付けた！と思えるような「確かな1題」を積み重ねることで初めて上達できるのです。

あなたが入試本番で絶対勝利を収めるために必要な事。それは「**自己満足のための勉強**」をやめ「**安心するためだけの勉強**」をやめ、**【確かな1題】を1つでも多く積み重ねること**なのです。

試練その5: 早稲田合格への基礎力を身に付ける

早稲田大学合格を志すあなたに絶対欠かせないのは基礎学力です。基礎学力のおよそ8割は「暗記」です。この暗記・基礎学力を軽視する受験生がとても多いのです。

とはいえ、「キツが大事だよ、キツが」「キツを固めなさい」とよく言われますが、「基礎って具体的にどのくらいの勉強のことを言うんだ?」と疑問を感じる人は多いでしょう。

ここで、個人的に私が考えている基礎学力についてきちっと定義しておきます。大まかに言って、**【早稲田大学合格を考えた時の基礎学力】**とは「**中学レベルからセンター8割程度の学力**」だと考えています。

- 英単語:6000 語レベル
- 英文法:中学英文法～高2までに習う英文法～ネクステレベル
- 英文解釈:『基本はここだ』『技術 70』『基礎英文解釈技術 100』
- 現代文:漢字、語句、背景知識と解法と30題程度の問題演習
- 古文:単語 600、古典文法、古文解釈、100本程度の長文読み込み
- 漢文:『早覚え』などで句法・漢字を一通り覚えている
- 数学:『センチャ』『元気数学』や教科書の内容を一通り押さえている
- 歴史:流れがわかっている、教科書レベルの用語暗記

もちろん、ただ暗記しているだけ、授業が理解できるだけでは、センター試験ではまともに得点出来ないこともあります。

ここでは英語と国語の基礎学力を身に付けるために、あなたにやってほしいことを具体的に示していきます。

英語の基礎学力養成講座

ここでは、あなたが「偏差値 40 程度で、何もかもわからない英語難民」であることを想定して書いていきます。まず、英語が読めるようになる仕組みについて簡単に解説します。

まずは 1 文を正確に読めるようにするための【短文解釈】を行います。長文は 1 文の集まりなので、短文解釈がしっかりとできれば、長文も読めるようになります。



短文解釈をするためには、英単語、英熟語と英文法の知識が必要です。これらの【知識】を土台として、短文解釈という「英語を読むときの【思考回路】」を作っていきます。

参考書例を挙げながら 1 つ 1 つ丁寧に解説していきますね。まずは英語の基礎学力を固めるための順番です。

① 中学英語＋高校基礎英語＋単語

キクタンEntry
中学英文法を修了する
ドリル
キクタンBasic4000
キクジュクBasic

② 難関単語＋解釈

キクタンAdvanced
DUO3.0
基本はここだ
スマートリーディング

③ 難関解釈

基礎英文解釈の技術100
ポレポレ英文読解
過去問をチェック

矢印が勉強期間です。②を勉強するのと並行で①を復習するという事を意味します。並行で復習をすることでガッチリ習得することが目的です。

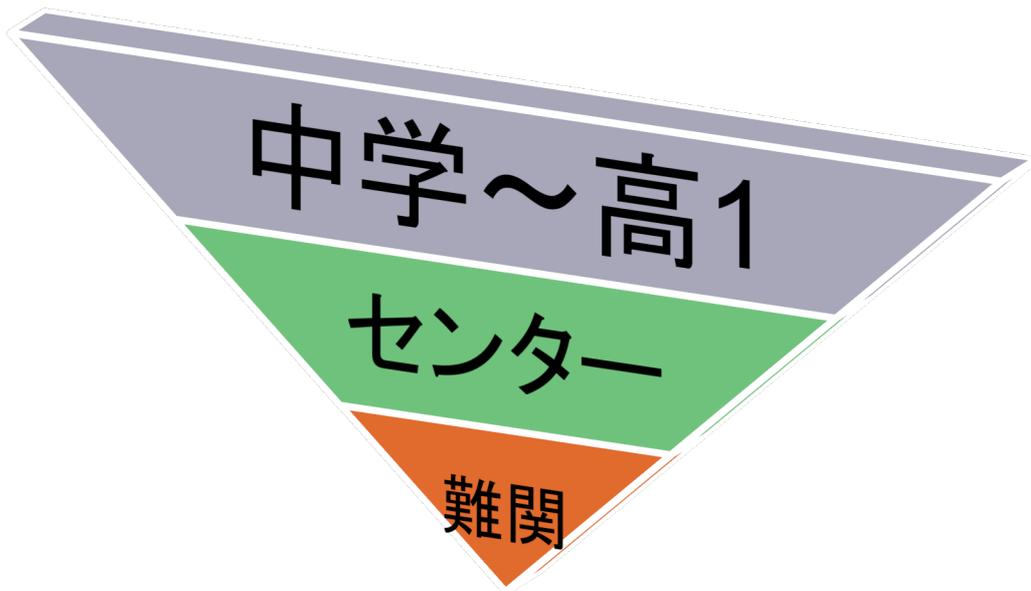
キクタン Entry

まずやってもらいたいことは、中3～高1レベルの英単語の徹底暗記です。このレベルは、非常に重要であるにも関わらず、ほとんどの人がその重要性を知らない、あるいは解ろうとしません。

英単語は、レベルが低くなるほど頻度

が高くなります。下の図をご覧ください。上から下に頻度が下がります。





レベルは低いですが頻度の高い中学～高1レベルの単熟語を最初に覚えておくことで、英語の勉強全体の効率化につながるのです。

サクサク覚えられる『キクタン Entry2000』をオススメします。覚え方まで指示してくれる『[ユメタン0](#)』でもOK。

ユメタンは覚え方までしっかりと解説してくれていて、機械的に英単語の覚え方を身に付けることができます。最初の1冊としては非常におすすめできる単語帳です。

まずキクタン Entry をユメタン0 を最低でも1週間で覚えて下さい。あなたが高3・浪人生なら2週間程度で全て覚えてしまいます。

やり方は全て本に書いてありますので、それを忠実に守って覚えてください。

英単語を覚えられない原因は主に以下の3つです。

- CD を使って発音していない
- 20 回 30 回と反復してない
- 「早く覚えられる」という幻想を抱き、なかなか覚えられないとストレスを感じて単語暗記を継続しない

当たり前前のことですが、英単語暗記は継続が 1 番大切です。

どんな単語帳を使おうが、毎日反復しないと絶対に覚えられません。何をを使うかよりどう使うかの方が 100 倍重要です。

ここではつべこべ言わず、キムタツ先生のメソッドを 100% 信じて付いていってください。

勉強は自己流でやると失敗します。プロのやり方をまずとことん真似てやってください。そうすれば必ず結果は出ます。

Mr.Evine の中学英文法を修了するドリル

英単語暗記と並行で進めてほしいのは、中学英文法の復習です。使用するのはアルク出版から出ている『[中学英文法を修了するドリル](#)』。

これは大学受験を意識した中学英文法の復習ドリルになっています。英語を難しくしている要因の 1 つに、文法用語がわかりづらいというものがあります。



SVOCM をはじめとする文法用語をあえて多用することで、高校英語の勉強にスムーズに移行することができるようにな

っています。文法用語が多用されていても、やっている内容は中学レベルですから、そこまで苦戦しないはずです。

ただし、ここで重要なのは「**テキスト内の問題を 100% 即答できるようにすること**」です。中学英文法は少しのモレもあってはなりません。モレがあると、高校英語の勉強でつまづきます。

勉強法の手順は以下の通りです。

1. 英文に SVOCM を書き込みながら解説を熟読する。
2. その日のレッスンを終えたら演習問題を解く。この時テキストに直接書き込まず、コピーするか pdf をプリントアウトして解く。あるいはオレンジペンで答えを書き込み、赤シートで隠して暗記する。
3. 英文を読むときに黙読は NG。口パクとか小さくてもいいから必ず音読するようにする。
4. 1 日 2 題ペースで進める。15 日で 1 周目を修了する。
5. 2 周目ではいきなり演習問題を満点目指してテストする。間違った部分はテキストに戻って完璧に復習する。

このドリルを完璧に覚えれば、中学英文法と高校英語で使用する文法用語にもかなり慣れることができるでしょう。

ここまでの 2 冊は、受験生なら遅くても 1 か月以内に固める必要があります。本来なら高 2 の間に習得しておくべき参考書です。もしあなたが受験生なら 2 週間～3 週間で習得できるように気合を入れて集中的に勉強してください。

キクタン Basic4000 (ユメタン1も可)

次はいよいよ高校英語の勉強を始めます。まずは『[キクタン Basic h 4000](#)』でセンターレベルの英単語を覚えましょう。

おすすめするのはキクタンです。ユメタン1でもOKです。単純にキクタンの方がたくさんの単語を収録しているので、ここではキクタンを採用します。

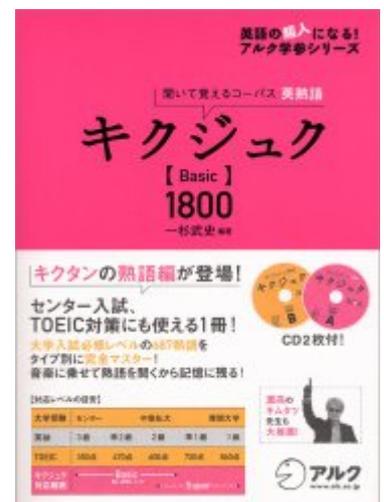
使い方はキクタン Entry とほぼ同じです。このレベルの単語帳を覚えれば、センター試験の英単語で分からないものはかなり少なくなるはずです。

キクジュク Basic1800

キクタンと並行で、『[キクジュク Basic1800](#)』も覚えていきましょう。熟語は軽視したり後回しにしたりする人が多いですが、それは間違いです。

単語と同じく読解の土台です。熟語がわからないと英文解釈でつまづくこともあります。また、文法問題で熟語を問われることもあります。

特にスマートリーディングをやればわかりますが、英熟語を覚えておいた方がスマリーをスムーズに進められます。



キクタン Advanced6000

続いて一気に難関レベルの英単語を覚えていきます。キクタン Advanced は次に使用する『DUO3.0』までのつなぎだと思って下さい。なのでサクッと1日1WEEK~2WEEKくらいのペースでさっさと1周して次に行っちゃって下さい。このレベルなら『ターゲット英単語 1900』『システム英単語』などでもOKです。

DUO3.0

マーチまでなら微妙ですが、早慶上智・東大など難関大学を受験するならDUO3.0が非常にオススメです。(マーチでも高得点を目指すならオススメです。)

これは1600単語、1000熟語を560本の例文に詰め込んだもの。英文自体の内容も面白いので、楽しく2600語の単熟語を暗記することが出来ます。

最強なのがなんといってもDUOの復習用CDです。これは全例文をたった1時間で回すことが出来るもの。つまり2600語を毎日1周することも可能なのです。

これは驚異的なスピードです。私は浪人生時代に毎日1周していましたし、単語王も毎日400語は見えていたので、毎日3000語を触れていたことになります。単熟語で困らなかったのは当然です。

とにかく時間が無い人は単語をゴリ押しで覚えていくしかありません。気合で1ヶ月で覚えて下さい。毎日2~3時間

DUO に費やせば 1 ヶ月～2 ヶ月で覚えられます。DUO を覚えれば、早慶上智といえど知らない単熟語はかなり少なくなります。

英文読解入門基本はここだ!

中学英文法を勉強したら次に取り組んで欲しいのが英文解釈です。ここでは『基本はここだ!』という参考書を使用します。この本は英文法の知識をどう運用して英文を読んでいくのか、その思考回路と基本パターンを修得することが出来ます。

英文解釈とは簡単に言えば「英文法の知識を総動員して、構造が複雑な英文を解析し、正しい和訳を作る訓練」のことで、例えば次のような英文を読めるようにします。

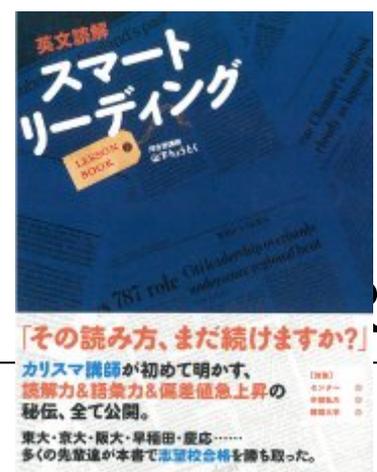
● The girl called Cathy called Tom.

単語自体は中学レベルでも、訳せる高校生は少ないはずですが、今は訳せなくても OK です。これからいろんな文章に出会い、訳せるようにしていけばいいのです。

例題だけでなく類例や **Let's Try** も含めて全ての英文をスラスラ訳して、**SVOCM** も説明できるようにしましょう。

英文読解スマートリーディング LESSON BOOK

次は『[英文読解スマートリーディング LESSON BOOK](#)』を勉強します。『基本



はここだ』よりもさらに色々なパターンの英文を読み込んでいきます。

『スマリーは』演習問題の音声を[著者の HP](#) からダウンロードできます。必ず音声を DL して音声を聞きながら復習します。

1. 著者 HP から音声をダウンロードする。
2. 各 LESSON を熟読し、文構造を考えながら SVOCM を書き込む
3. 演習問題を解く。解説を熟読する。
4. もう一度各 LESSON の英文を読み、①音読②構造把握③和訳の 3 点がスラスラ出来るようになるまで復習する
5. 「英語を英語のまま理解できる」ようになるまでしつこく何度も何度も音読を繰り返す

最初はやや難しいと思います。その場合は問題を解かずにいきなり解説を熟読することから始めましょう。その後の読み込み復習にたっぷり時間を使うと良いです。

詳しい英文解釈の勉強法については独学ラボの「[英文解釈勉強法 | 4ヶ月で偏差値を 20 上げる英文和訳のやり方](#)」を参考にしてください。

構造把握の説明は、こんな感じで英文を解説することです。

- The girl called Cathy called Tom.

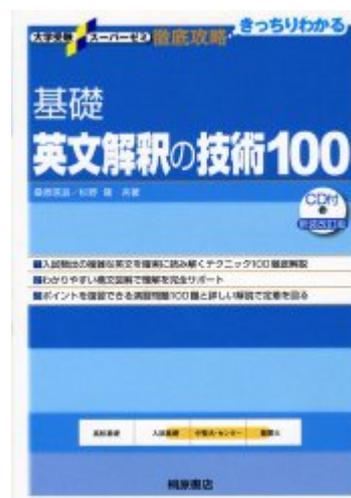
「The girl called Cathy が S。2 つ目の called が V。Tom が O。1 つ目の called Cathy は過去分詞が形容詞になったもの。後ろから The girl を修飾して【キャシーと呼ばれる女の子は】と訳す」

①音読して②構造を説明して③和訳を言う。3 つの手順を 1 文 1 分くらいでスラスラできるようにしてください。

基礎英文解釈の技術 100

次はおよそマーチレベルの解釈として

『[基礎英文解釈の技術 100](#)』を勉強していきます。



基本的な使い方は『スマートリーディング』と同じです。例題 100 題をまず 10 回以上復習します。その後、演習問題を解いていきます。

今一度、英文解釈系の参考書のゴールを挙げます。

①英文をスラスラ音読できる

②構造把握をスラスラできる

③和訳をスラスラできる

繰り返し何度も何度も強調しますが、復習するときは原則 CD を聞いて音読すること。そして音読は決して棒読みにならないように、頭をフル回転させて行ってください。

そのため、音読は 1 セット 15 分から 20 分を限度とし、長時間続けてやらないようにしましょう。

ポレポレ英文読解プロセス 50

ほとんどの入試問題では『基礎 100』で十分ですが、早慶上智の英文で構造把握できない英文をなくす、ことが最初のゴールです。ということでここまでしっかり勉強しましょう。

ポレポレでは基本はここだと同じく、英文を読む時の思考回路が重点的に解説されています。もちろん難しい「ライオンマーク」の英文までスラスラと構造把握・和訳出来るようにしましょう。

過去問を読んでみる

さて、ここまでで

- 早慶上智レベルの単熟語
- 早慶上智レベルの英文解釈力

を身に付けてきました。「理論上」はここまでの勉強で、早慶の過去問の英文を 1 文ずつ「和訳」は出来るはずですが、長文全体を読んで内容が分からなくても OK です。長い長文を理解する訓練は後で行います。

さて、ここであなたにやってほしいことは 2 つ。

- 知らない単熟語をリストアップする

● 構造把握できない英文にチェックを入れる

もしまだ知らない単熟語が多いなら、DUOを復習したり『キクタン Super』『キクジュク Super』などの超ハイレベル単語帳・熟語帳で暗記したりすることを検討します。

早慶上智でも英語が超難解な学部の場合、『英文読解の透視図』など早慶レベルの解釈書をもう一冊勉強していきましょう。

ここままで、早慶の過去問でも4割～5割程度は得点できるかと思います。（長文問題のみ）

ここからは文法や長文にも力を入れていきます。時間が無い人はここまでの勉強と並行して『NextStage 英文法・語法』などを勉強していく必要があります。

NextStage 英文法・語法

標準レベルの文法知識をここでインプットします。語彙と解釈をがっちり固めてきたなら、そこまで苦労はしないと思います。

文法問題集を解く時の原則としては「絶対に書かない」こと。答えすら書かなくていいです。口頭で言えばいいのです。その分スピードを重視してガンガン問題を高速で解いていって下さい。

1. 問題を解く。解けた問題にはチェックを入れる。初見で解けた問題はもう二度と解かない。

2. 50 問程度解いたら総復習。ここでも間違えた問題はチェック。
3. 1 日 100 問程度進める。第 1 章を 1 週間で終わらせる。第 1 章を今度は 5 日以内に 1 周する。
4. 次は 3 日で 1 周する。次は 1 日で 1 周する。次は一度全ての問題を解きなおす。
5. また同じように回して 7 周程度する。全問題を即答できるようにするまで繰り返す。

上の要領で 1 章ずつ高速で反復して覚えていって下さい。多くの人が文法問題集を覚えられないのはチンタラやっているからです。

答えは書かなくていいです。口頭で言う、それをサクサク進めましょう。そして復習は高速で行います。

根拠を言いつつ解ければ最高。でも根拠を言えないようなタイプの問題もありますから、まずはあまり気にしないで全問即答できる事を目指して下さい。

5STEP アクティブ・リーディング

英文解釈を学んだら、さっそく簡単に短い長文で読解練習をしていきます。使用するテキストは『[5STEP アクティブリーディング](#)』です。

この本は 100 語程度の短い長文が 24 題収録されていて、CD 付きです。



英語長文を習得するためには、「どのような手順で読み込みをしていけばいいのか」が1から10まで全てわかります。

1つの長文を20回音読しますが、頭を使わずに棒読みすることを防ぐために「サイトトランスレーション」と言って英文と和訳を交互に言う練習をしたり、リズムカルに読む練習をしたり、スピードをつけて速読してみたり…

いろいろ方法を変えて音読を繰り返し、その英文を完全に自分のものにする (Intake) ことができます。

いままで長文を読んだことはあるけどいまいち読解力をつけることが出来なかった人は、この本を読んで長文の勉強法を学んでください。

今後とも使用することになる長文読解の教材の勉強法を習得するという点で、このテキストは非常に重要です。

英語長文速読トレーニング Level2

センターレベルでも400語～600語とやや長めの長文を読んでいます。発音やアクセント、リエゾンなどに注意して繰り返し英文を読み込んでいきましょう。

速読英単語 必修編 [第6版]

英文の読み慣れのために『[分冊 速読英単語\(1\)](#)

[必修編 \[改訂第6版\]](#)』を使います。本書は

2014年に改訂されて「単語帳」「英文冊子」を分けて使えるようになりました。



Z会の「[『速読英単語\(1\)必修編 \[改訂第6版\]』対応「読解アシスト」無料ダウンロード](#)」ページにて、英文の構造や背景知識を解説したPDFファイルをダウンロード出来るようになっていました。こちらは必ずプリントアウトして使ってください。

それと、当たり前すぎて言いたくないですが、必ずCDも用意してください。**CDを買わないならば速単を使う意味はないと思ってください。**

CDは少し高いな…という場合は友達とお金を出し合って買うか、代わりに『[東大英語長文が5分で読めるようになる英単熟語編 Vol.1](#)』『[同 Vol.2](#)』の2冊を使いましょう。



こちらはCD付きで1600円程度ですから安いです。「速単+速熟」⇒「東大5分①+②」に代替可能です。ただし英文量は速単の方が多いため、長文問題集を1~2冊追加でやるといいでしょう。

速単の「読解アシスト」には簡単な内容についての正誤問題が収録されています。

私が提唱するカリキュラムでは長文問題の演習量がやや少ないので、**この正誤問題は必ず解いてください。**

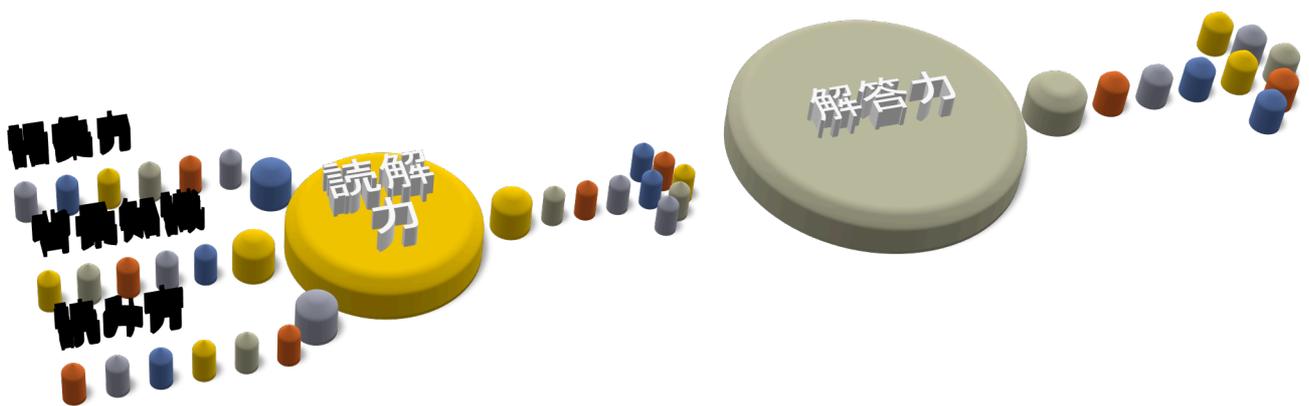
無料で手に入る補助教材を最大限に活用できるか。それが速単を使って成績を伸ばすための秘訣です。

論理を読み解くアクティブリーディング

パラグラフリーディングを学んで、英語の論説文をどのように読み解いていくのかを考えます。この本を読んでから英語の長文を読んでいくことで、「ただ漠然と英語を読むのではなく」、パラグラフ毎の要旨や筆者の主張を考えながら読めるようになります。

現代文の基礎学力養成講座

ここでは早稲田の過去問の現代文を読めるようにするための手順をお話しします。現代文の読解力を身に付けるために必要なことは主に3つ。【語彙力】 【背景知識】 【読み方】です。



読解力を身に付けた後に（実際は同時）、解答力を身に付けていくイメージです。

語彙力＋背景知識

漢字マスター
ボキャブラ320
評論文キーワード
過去問読んでみる

②語彙と読み方復習＋演習

読解テクニック
アクセス基本

③復習

アクセス発展編
過去問解いてみる

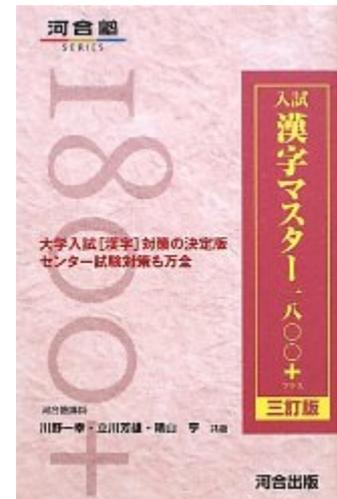
復習をこまめにしながら新しい参考書を勉強していきます。特に漢字は常に復習しながら進めていき、最初の段階できっちり覚えていきましょう。

入試漢字マスター1800+

語彙力が極端に低い人は現代文で高得点を取ることができません。

語彙力が低い人は強化する必要があります。英語と同じく語彙力は読解力の土台だからです。

使用するのには意味付きのものなら何でもいいです。ここでは『[入試漢字マスター1800+](#)』をおススメしておきます。



1. 原則として1日100個ずつ進める。100個の読みと意味をチェック。

2. 漢字を見て「読み⇒意味」の順に言えるように反復する。スラスラ言えるようになるまで反復。
3. 2日～5日間、毎日同じ100個を反復する。全て完璧に覚えたら次の100個に移る。(1日で全て覚えたらすぐ移って良い)
4. 全ての漢字の読みと意味を覚えたら書き取りも覚えてみる。

漢字の勉強と言うとまず「書き取り」を連想すると思いますが、まずは読みと意味を最優先で覚えなさいといけません。

それは「英単語をスペルだけ書いて覚えて、発音や日本語訳は覚えなさい」と言うくらいおかしい話です。

漢字を覚えるときの最終目標は以下の2つです。

1. 読みと意味を即答できる
2. 漢字もササッと書けるようにする

漢字は単語みたいに毎日コツコツ触れましょう。

キーワード&ボキャブラリー320

評論文では普段あまり触れることの無い難解な言葉が頻出します。そのため、まずは難しい評論用語に慣れる必要があります。

ボキャブラを繰り返し5回ほど読んで、キーワードの意味や背景知識を頭にインプットしましょう。

インプットしたあとは、用語を見てその説明を口頭で行います。シャドウティーチングによるアウトプットです。

これを繰り返し繰り返し行なって、現代文の先生になったかのように人に説明出来るようにしましょう。家族や友人に説明するのがベストです。

読解 評論文キーワード:頻出 225 語&テーマ理解&読解演習 50 題

続けて、今度は実際の入試問題の中で用語を見ていきます。このレベルの評論文が理解できれば、早稲田大学現代文も理解できるでしょう。

繰り返し用語の説明を読んで頭の中にインプットして、評論文を読んで丁寧に理解します。

理論上、ここまでの勉強で、商学部や社会科学部などの国語の現代文なら「なんとか理解できる」ようになると思います。

ここままで「読める」段階まで来ました。ここからはより論理的に読む&解くという段階に移っていきます。

受験国語の読解テクニック 新装版

次は読み方を学びます。『[受験国語の読解テクニック](#)』を使いましょう。この本は中学入試用の参考書ですが、大学入試の現代文にも十分通用するテクニックを解説しています。そして、ほとんどの人が教わったことのない技術を解説してい



ます。

この本ではたとえば以下の事を学ぶことができます。

- 説明的文章の話題の掴み方
- 文学的文章の話題の掴み方
- 傍線部の分析方法
- 抜き出し問題の解き方
- 記号選択問題の解き方
- 記述問題の解き方

「話題のつかみ方」などは、大学入試用の参考書ではほとんど語られません。それは小学校、中学校で散々やってきただろう、という風に「できて当然」という前提で書かれているようです。

パターンや解法テクニックを学んでも、読解の基礎中の基礎である「話題をつかむ」ことが出来なければ得点は伸びません。

英語で言うと、まともに英文を読むことすらできない人が、必死に解法テクニックを学んでいるようなものです。土台なきテクニックに意味はありません。

まずはこの本を熟読し、その後の問題集を解くときに習ったテクニックを実践していきます。

現代文は、習った解き方が「自分の常識」になっていないうちは全然得点できません。「あー、これはこうやって解くんだっけ」となっているうちは時間もかかりますし、自信を持

って解くことができないため、模試などでは全然得点出来ないことが多いです。

何度も何度も参考書を読み、問題集を何回も反復して解く中で、習った解き方を「完全に自分のモノにする（無意識に参考書通りに解ける）」ことで初めて実戦で得点できるようになります。

したがって、この本を読んだだけでドカン！と現代文の得点が上がることを期待しないでください。

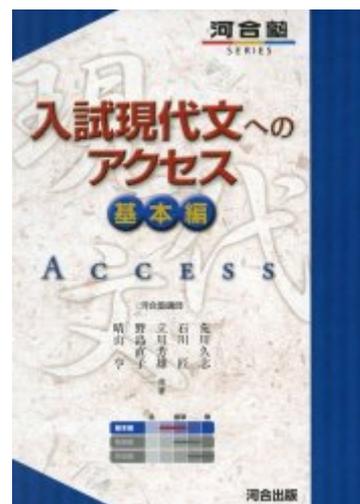
特にセンター現代文は制限時間が厳しく、入試現代文の中でも最高レベルの難易度です。勉強しても模試で全然得点出来ないというケースもあります。

1. 解説を読んで、問題が来たら解く。薄く書き込みしながら解く
2. 解説される読解テクニックは全て吸収して完全に自分のものにしよう。それを意識して復習する
3. 最後まで勉強したら、もう一度最初から問題を解く。この時自分なりに読み方・解き方を説明しながら解く
4. 解説を読み、自分の読み・解き方が解説と合っているかを確認する
5. 読解テクが血肉化するまで復習

入試現代文へのアクセス 基本編

『読解テクニック』で学んだ読み方・解き方を、簡単な問題集を使って実践していきます。

使用するの本文解説・解答解説ともに詳しい『[入試現代文へのアクセス基本編](#)』です。



1. 読解テクニックを思い出しながら問題を解く。目安は 30 分だが、多少オーバーしてもよい
2. 参考書には書き込みせずコピーして解く
3. 解答の根拠をメモしながら設問を解く
4. 本文解説やキーワード(背景知識解説)を熟読する
5. 答え合わせ。解説を熟読し、自分の考え方「根拠＝解答へのアクセス」が合っていたかチェック。答えは合っていても導き方が違うなら×とする
6. 【ここからが勉強！】もう一度問題を読み、解説を再現しながら問題を解く。上手く説明できないなら解説を再読し、もう一度解く
7. 最初は解説の真似でいいが、なるべく自分の言葉で「解答へのプロセス」を説明できるようにする

現代文の勉強は「解答までの思考回路を説明できるかが全て」です。それをやらない勉強はただの作業だと思ってください。

私は現役時代、現代文の成績をあまり上げることが出来なかったのですが(偏差値 40 から早稲田 5 割程度)、その原因は「問題を解いて解説を読んで終わり」という勉強をしていたからでした。参考書を 8 冊くらい勉強したのですがあまり力をつけられませんでした。

浪人してからは、答えの根拠をノートにメモする「リーズニング」を実践しました。時間はかかりますが確実に力をつけることができ、早稲田の現代文でもコンスタントに 8 割程度得点できるようになりました。

現代文や英語、数学などの思考科目に共通する大事な勉強法は「参考書に書いてある（予備校講師が教える）解答の仕方を自分のモノにする」ということです。

解説を読んで終わりという「お勉強」は、テニスコーチのお手本を見て「スゲー」と感心して終わる、みたいなものです。自分で何度も何度も反復練習しないと、絶対に成績は上がりません。

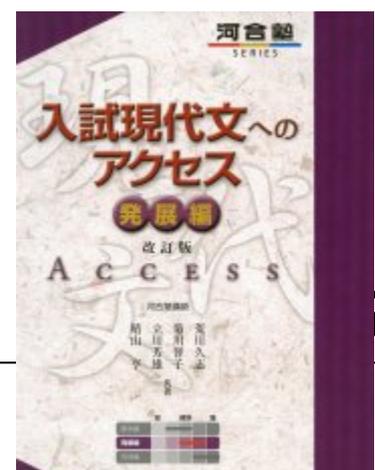
ここまでの 3 冊をしっかりと勉強すれば、基礎を固めることが出来ます。

繰り返しになりますが、センター現代文は非常に難易度が高いので、ここまでの勉強でも 5 割程度しか取れないかもしれません。

そもそもが最高レベルの難易度なので、模試で得点できなくても焦らないでくださいね。

入試現代文へのアクセス発展編

『[入試現代文へのアクセス発展編](#)』ですらに問題演習です。



今までの勉強で習得してきた「読解テクニック」「正解へのアクセス」「背景知識」を総動員して問題を解いていきましょう。

問題を解くときは時間をあまり気にせずに「リーズニング」を実践してください。リーズニングを本気で実践するか否かで、このテキストを勉強し終えての伸び率が全然違ってきます。

また、発展編から要約が付いています。ぜひ要約練習もしてください。要約力≒読解力です。要約練習を繰り返すことで、あなたの読解力はグングン向上します。

それと、何度もしつこくて恐縮ですが、復習するときには解答へのプロセスを自分の言葉で再現できるようにすること。

1回目は普通に問題を解いていきます。適宜復習していきます。2回目に問題を解くときは「本文を要約」「設問をリーズニング」してやってみてください。要約とリーズニングが正しくできていれば、ほぼ合格と言ってよいでしょう。

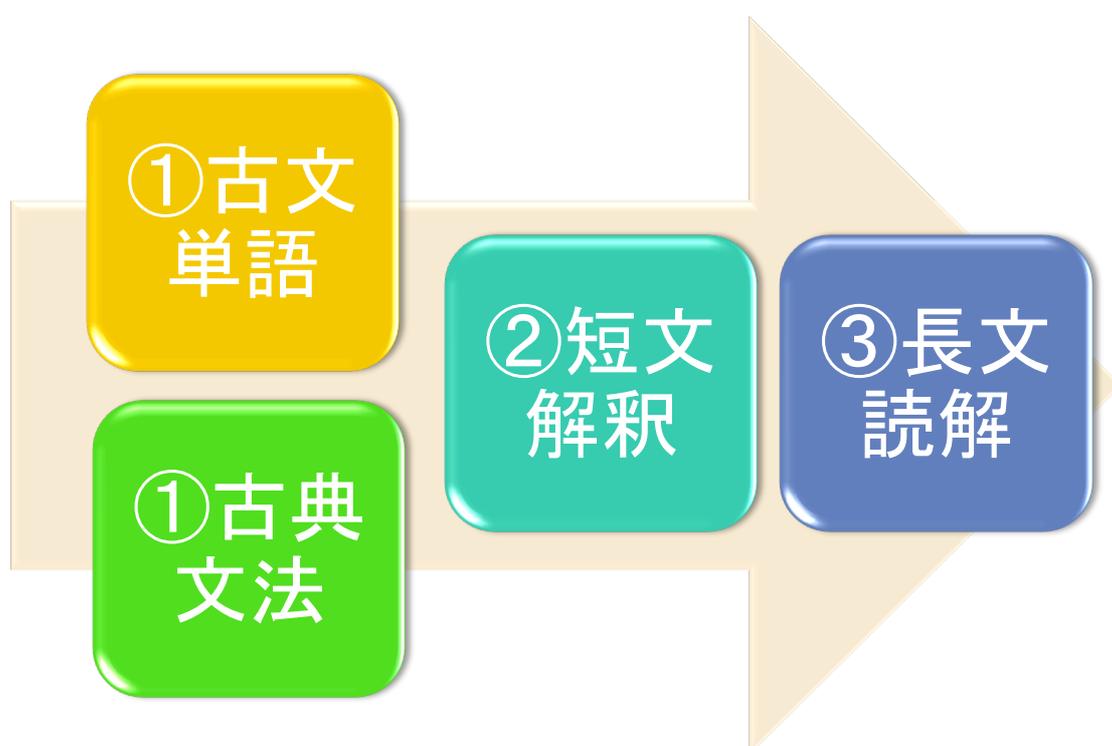
ここまでの勉強が出来れば一度過去問を解いてみましょう。まだまだ得点できなくても OK。ただ「文章は理解できたか」「なぜ失点したのか」などは考えて下さい。その後で適宜参考書を復習して下さい。

古文の基礎学力養成講座

ここからは「1か月で教科書の古文を読めるようになるための勉強法」を解説します。

私が毎日2時間の勉強を1か月続けて教科書の古文を読めるようになった勉強法をお伝えします。言った通りにやってもらえれば古文を短期間で読めるようになるはずです。

古文の勉強法は英語と似ています。



英語と同じように、古文もまず1文を正確に読めるようにします。その後に長文を読んでいくだけ。

古典文法は最初から細かいものを勉強するのではなく、読解に必要な頻出のものだけを完璧に覚えます。

短文解釈では単語と文法の知識を運用して品詞分解をしながら短文を自力で読めるようにします。

そこまで出来ればあとは長文をたくさん読んでいくだけです。実は古文の勉強法はとてもシンプルなのです。

1日でも早く古文を読みたい人は以下の3つのポイントを意識してみてください。

最初からガリガリと文法ノートを解かない

最初は単語はゴロでさっさとうろ覚え

最初は助動詞表をチラ見しながら品詞分解

学校の先生が言う事とすべて真逆だと思います（笑）もちろん、最終的には単語、文法、助動詞表、全て暗記することが目標。でも、いきなりそれをやると上手くいきません。

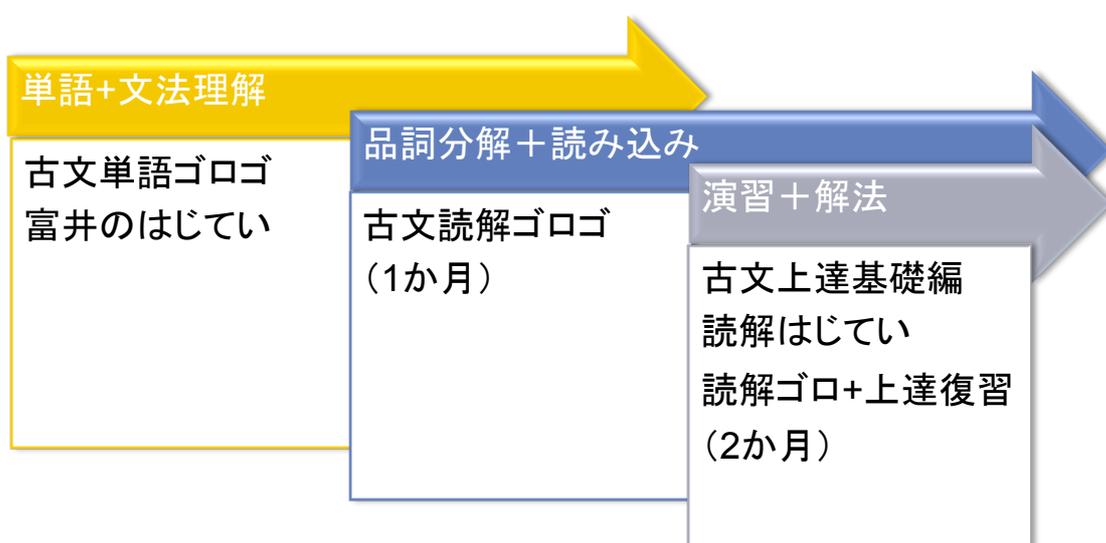
古文は単語や助動詞や助詞をコツコツと覚えているから苦手になります。英語の文法問題集をいまいち理解できないのに無理やり暗記させられるようなもんです。

細かい文法は後回しにして、読解に使う文法だけさらっと勉強して、あとはどんどん読む練習をすればいいのです。

単語も最終的には「単語⇒現代語訳」を覚えますが、最初は単語調べの時間を減らすためにゴロでササッと覚えてしまいます。

私が教えている方法で勉強すれば、遅くとも2か月で教科書の文章が読めるようになります。4か月くらいでマーチ古文まで読めるようになります。

基礎力を固めるために以下の手順で勉強します。



本当にゼロからの人はまず単語と文法理解を行います。ゴロゴと富井の文法はじていを3日で1周してしまいます。

その後は2冊をコツコツ復習しながら、古文読解ゴロゴを使い、品詞分解をしながら古文を音読していきます。

その後、さらに『古文上達』を使って読み込みと問題演習を行い、それと後か並行で『読解はじてい』を読んで古文読解テクニックを学びます。

さらにその後、『読解はじてい』で学んだ読解テクニックを使いこなすために、『読解ゴロゴ』と『古文上達』を復習します。

ここまでで、およそ3か月で終了です。中堅私大ならあとは古典文法ノートをガリガリ暗記してもらえればだいたい通用します。

古文単語ゴロゴ

古文の単語帳は人によって好みが分かれるようですが、覚えやすいものを使えばいいです。そこでおすすめなのが『[古文単語ゴロゴ](#)』です。

この参考書を使う目的は「読解ゴロゴ」を1日でも早く使いこなせるようになるためです。



古文単語は結局文章中で覚えるのが良いです。しかし、あまりに単語を知らなさすぎると文章を読むのに時間がかかって苦勞します。

古文初心者にとっては、単語調べも面倒くさくて大変ですよ。そこでゴロでさっさと「うろ覚え」してしまうのです。

この「うろ覚え」というのが大切です。どうせ古文単語は後の参考書でしっかり覚えます。3日で1周、その後少しずつ復習すればいいですが、さっさと次に移ってください。

富井の古典文法をはじめからていねいに

先に断わっておきますが、『[富井の古典文法をはじめからていねいに](#)』を勉強するのは必須事項ではありません。いきなり『古文読解ゴロゴ』を使いこなせるならスルーしてOK。



本当に何もわからない人はまずこの本を読んでおきましょう。使い方は簡単で最初から最後まで**3日**程度で一気に読み通すこと。覚えるというよりは理解するイメージで読んでください。

古典文法はまず「意味」「活用」「接続」を覚えます。特にまずは意味を覚えてください。

活用は何度も暗唱して少しずつ覚えます。接続は品詞分解した古文を何度も読み込むことで、身体で覚えていきます。

活用と接続の暗記は次の『古文読解ゴロゴ』でもやれますので、ここでは特に意味に注意して、**3日**程度で通読してください。

その後、『古文読解ゴロゴ』を勉強しながらコツコツ読み直しておきましょう。アウトプットに文法ノートを勉強してもいいですが、個人的には短文解釈が済んだ後にやった方が効率的です。

古文読解ゴロゴ

『古文読解ゴロゴ』は1冊で単語、文法、品詞分解の練習が出来、おまけに頻出古文の長文読み込みもできるオールインワン型の参考書です。

私はサ変活用も覚えていない状態からこの本と単語帳のゴロゴを1か月勉強し、教科書の古文を読めるようになりました。以下は勉強手順。



1. 単語ページと文法講義を読む。助動詞は意味・接続・活用形を確認
2. 品詞分解ページで重要ポイントの品詞を確認する
3. 長文ページをコピーして、文節ごとにスラッシュを入れていく
4. 助動詞表、助詞表を横に置いて、現代語訳も参考にしながら品詞分解を書き込んでいく
5. 古文を句点ごとに音読→現代語訳を言う練習をする
6. 全文をスラスラ読めるようになったらさらに5回程度読み込む
7. 反復を繰り返して、合わせて20回程度読み込みをしていく

『古文読解ゴロゴ』のゴールは以下の3つです。

①品詞分解をスラスラできる

②本文をスラスラ音読できる

③現代語訳をスラスラできる

繰り返しますが、古文の勉強で大切なのは英語と同じく自力で古文を読めるようになることです。それ以外の作業は原則としてしないこと。

古文が自力で読めるようになれば苦手意識もなくなるし、授業を受けている人は予習復習も手早くこなせます。

古文読解ゴロゴの品詞分解+音読を繰り返してもらえれば「文法をゴリゴリ解く前に、文法を運用して読解に生かす重要性」がわかると思います。

文法をコツコツ解いている人がいますが、文法を完璧にしても読めるとは限りませんのでご注意ください。いつになったら読めるようになるの？と思います。2か月後？3か月後？

私はせつがちでさっさと読めるようになりたいからこういう勉強をしました。

古文読解ゴロゴを勉強した後は、『[ステップアップノート 30 古典文法トレーニング](#)』などで文法をしっかりと暗記してもいいでしょう。

読解ゴロゴでメインの文法を覚え、古文にも慣れていないはずなので、しっかりと理解しながら、かつ現代語訳をしっかりと行いながら問題を解くことができるはずです。

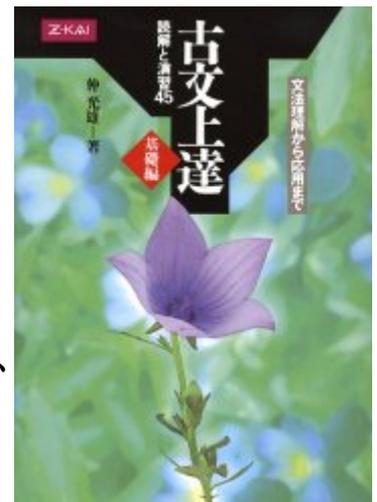
ちなみに、古文読解ゴロゴはスマホでも勉強できるアプリがあるようですからぜひ活用しましょう。

読解ゴロゴは **1日2題×2周⇒1か月程度**で勉強します。

古文上達基礎編 読解と演習 45

ここからは **2か月目以降**の勉強です。次は『[古文上達 基礎編 読解と演習 45](#)』でさらなる読み込みをします。

基本的な使い方は読解ゴロゴと同じですが、これは問題集なので、問題もカンペキに解けるようにしましょう。



初級レベルの古文読解のポイントは以下の **3つ**です。

主要な登場人物を把握する

場面と話の流れを把握する

オチを把握する

古文には「恋愛話」「人情話」「滑稽話」などいろいろありますが、どのタイプの話であっても、**オチを把握することがポイント**。

恋愛話なら誰と誰の恋愛なのか？結局最後は上手く行ってハッピーエンドなのか、それとも上手くいかない悲恋話なのか。

古文上達には「あらすじ」が書かれているので、問題を復習するときに、**自分であらすじを思い出しながら文章を読んでいくようにしましょう**。

富井の古文読解をはじめからていねいに

一通り古文に慣れたら『[富井の古文読解をはじめからていねいに](#)』を使い、基本的な古文読解のテクニックや古文常識を勉強しておきましょう。

まずは古文読解テクニックの話から。主に



「主語の把握方法」「省略の見抜き方」「会話部分の把握」「敬語表現の把握」を学びます。

どれも古文初級者には難しいテクニックです。これらの読解法を学んで使えるようにしていきます。

次に古文常識の話。古文で意外に重要なのが古文常識という 1000 年前の日本の文化、常識なんです。

「夢の中に好きな人が出てきたら、相手が自分のことを想ってくれているんだよ」という古文常識、聞いたことありますか？

現代人の感覚だと、何をバカなこと言ってんだ、と思いますが、当時の人からすればこれが当たり前なんです。

こういう当時の風習、考え方、人々の価値観、年中行事などを知らないとう文章内容を理解することが出来ません。

また、最低限の作品常識・あらすじも割と重要です。

源氏物語で言えば、光源氏をはじめとする多くの登場人物を知っておくことが大切。

頭中将、空蝉、夕顔、紫の上、六条御息所など、主要な登場人物を知り、そして光源氏の生い立ちから死ぬまでの主な事件、恋愛を知っておかないと、源氏物語を十分に読解にすることは出来ません。

難関大になればなるほどあらすじを覚えておくことは重要です。知らないとう読めない事があるからです。

とはいっても、いきなり細かく覚えなくてもいいです。おおざっぱな作品知識を『読解はじてい』の別冊を見ながら覚えておきましょう。

勉強法ですが、普通に読み進めていって、演習問題を解いていけばいいです。**読解技術を身に付けることをゴールに勉強してください。**

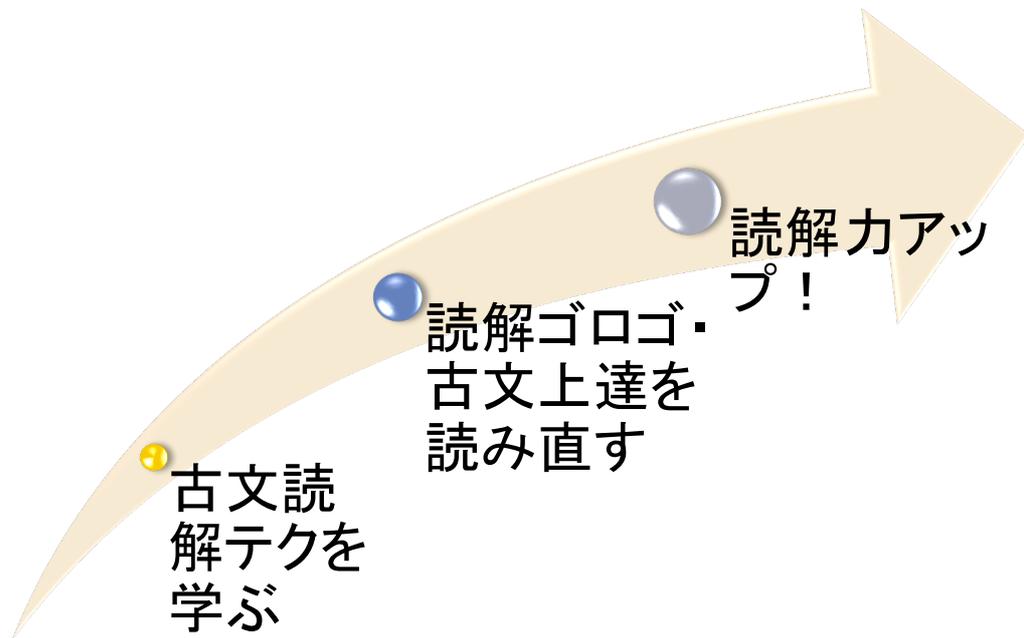
ということは、復習では、ただ和訳できるようにすることがゴールにはなりませんよね。

「ここは〇〇だから大納言が主語。ここは〇〇だから主語が変わって道長が主語。」

このように読解ルールに従って主語を判断したりできるようにしましょう。もちろんルールは絶対ではないですが。

【ここが重要！】そして、『はじてい』を読んだ後にもう一度『古文読解ゴロゴ』『古文上達基礎編』を復習し、読解テクニックを実践してください。

古文読解テクニックを 75 の古文を読み直しながら実践することで、読解力を上げることが出来ます。



読解ゴロゴゴ、古文上達、はじめてい、単語ゴロゴゴなどを勉強し終えれば、古文の苦手意識はなくなっているはずです。中堅大学ならここまでの勉強でほぼ合格点が取れるでしょう。

センター古文はかなりの難易度なのでまだまだ勉強が必要です。ただし、あなたが目標とするのはあくまで早稲田大学ですから、センター古文はあくまで目安としておきましょう。

ここまでの、古文の基礎学力養成講座は終了です。あとはセンター・マーチの古文を攻略して、次に早稲田の古文とステップアップするだけ。

ここまでの勉強をこなせたあなたなら必ず早稲田の古文を攻略できるようになりますから、引き続き精進していきましょう！

漢文の基礎学力養成講座

次は漢文です。基本的な流れは以下の通りです。

訓点・語順

句形・漢字

問題演習・常識

訓点はレ点や一二点などのこと。漢文は英語に似た語順ですが、それらは最初に知っておくべきです。ここまでの勉強は出来れば学校でしっかり覚えておきましょう。

本格的な勉強は句形や漢字を覚えることになるでしょう。

「使役」「受け身」といった句形や、日本語とは意味が違う漢字の読み・意味を覚えていきます。

それらが終わったら（並行でも OK）、実際に漢文の文章を読みながら問題演習を行います。

漢文も古文と同じく多読が重要です。

漢文は古文のように(それ以上に)突拍子もない展開の話があります。人がいきなり生き返ったり、

しっかり話の展開についていけるようになるには、やはりたくさん漢文を読んでいって経験値をためることが重要なのです。それでは実際に漢文を勉強してみましょう。

漢文早覚え速答法

1冊目として勉強してほしい参考書は『[漢文早覚え速答法](#)』です。

※漢文を学校でほとんどやっておらず、知識がゼロの人は先に『[三羽邦美の超基礎がため漢文教室](#)』を勉強しましょう。

このテキストでは主に句法と漢字を勉強します。「使役」「受け身」「比較」などの句法を10個覚え、100個程度の漢字を覚えるのが中心です。

本の後半には、句法と漢字を1つの文章に詰め込んだ「考試の道」という漢文の長文があります。

これは1連のストーリーになっている文章を書き下しすることで、本書で習ったすべての句法と漢字を総復習できるというオールインワン型のテキストです。

この「考試の道」を何度も繰り返し音読することが本書の勉強の中心となります。

1. 句法の解説を読む。練習問題を解く。
2. 自力で書き下し、現代語訳が出来るようにする。

漢文の勉強法の基本は音読です。句形を覚えるには実際に声に出して書き下すことで、読む順番を身体で覚えることが出来るからです。

入試問題によっては、白文（送り仮名も訓点もない）を書き下せ、というものもあります。



こういった問題を解くのは難しいですが、漢文の語順や句形をしっかりと覚えておけば解けるようになります。

漢文入門 句形の理解から演習まで

次はZ会の『漢文入門』で句形の復習をしつつ問題演習をしていきます。簡単な問題から慣れていきます。



※実は速答法の前にもやってもいいのですが、Z会のテキストは硬めの文章なので、いきなりやるのは大変かなと思い2冊目に配置しています。1冊目から使えるなら1冊目にやってしまいましょう。

このテキストでは問題を解きながら句形や漢字の復習をします。そして漢文を読んで「話の要旨」「オチ」などをつかめるようにします。

問題を解いて解説を読んだ後は、最初から最後まで漢文を書き下し（音読）していきます。

1つの題材につき最低20回は音読してほしいですが、回数はあまり考えないでください。

20回音読すればいいんだ、と思ってしまい、内容を理解せず棒読みで20回音読するだけの人がいます。1冊全てそのように勉強して、いざチェックしてみると何も頭に残っていないという人もいます。

音読は覚えるための手段。音読が目的になってはいけません。

1回1回集中して、内容をきちんと考えながらじっくりと音読することが重要なのです。

世界史の基礎学力養成講座

ここからはセンター世界史で7割くらい得点できるようになるための勉強法を解説します。世界史の勉強の流れは以下の通りです。

流れ、イメージ
をつける

教科書型テキスト
ト・一問一答

ハイレベル演習、
文化史対策

いきなり教科書を覚えていくのが理想ですが、世界史の流れもイメージも身につけていない人は教科書を理解することが出来ません。

歴史は「(hi)story」なのですから、物語の流れをつかまないと覚えられません。あなたは自分の好きなドラマや小説や漫画のあらすじなら簡単に話せるでしょう。

それはストーリーを覚えているから。誰が何をして、その結果こうなったという因果関係を覚えているからなんです。

世界史も1つの物語です。歴史とはいわば人類の物語なのですから、そこには様々なドラマがあります。教科書を読むだけではそのドラマを感じる事がなかなかできません。

したがって、世界史の流れやイメージをつかむために最初に漫画を読むことをおすすめしています。

いったんイメージをつけたら教科書よりもカンタンな問題集を覚えていきます。簡単とはいっても、全て覚えればセンター7割くらいは取れるようになります。

まずはそこまでの勉強法を解説しましょう。

流れ図で攻略 詳説世界史 B

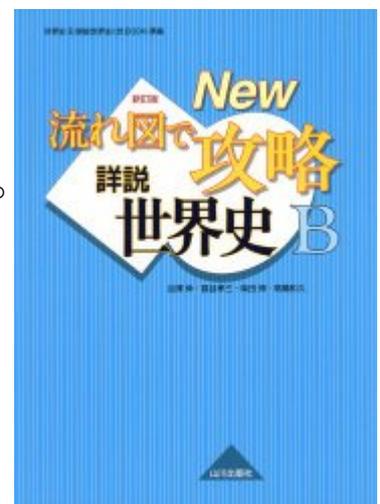
あなたがまずメインに覚えてほしいのは『[流れ図で攻略 詳説世界史 B New](#)』です。

このテキストは用語を基礎的なものに絞っており、教科書よりもカンタンです。1冊目でも十分使いこなせるでしょう。

世界史を本当にゼロから勉強する人はイメージを身に付けてもらうために『[マンガ世界の歴史がわかる本](#)』を繰り返し読んでおきましょう。既修者は『[大学受験らくらくブック世界史](#)』でもいいでしょう。

『流れ図』の素晴らしい点は、世界史のタテとヨコを流れ図という図で視覚的に理解できるという事です。

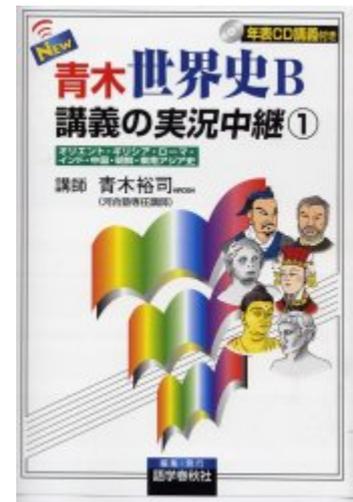
学習の初期段階ではあまり流れ図の良さを実感できないかもしれませんが、知識が増えれば増えるほど、流れ図の良さがわかってくるはずです。



したがって、流れ図は勉強が終わっても常に横に置いておき、流れ図を見ながら教科書暗記などを行ってください。

さて、流れ図の前に使用しているのはマンガのみでしたが、それだけではわかりにくい部分もあるかもしれません。

その際は『[青木世界史 B 講義の実況中継](#)』の該当部分を読むか、CD 講義を聞いておきましょう。



本は次のレベルで使いますが、なかなか難しいので、全て読まずに深く理解したい部分のみ読みましょう。

また、CD 講義の方はかなり簡単なので、繰り返し聞きながら流れ図を暗記すると思います。それを踏まえた流れ図の勉強手順です。

1. マンガをサクッと読んでおく。
2. 実況中継の CD 講義を聞いて、流れ図を暗記。
3. 暗記する際はオレンジペンなどで答えを書き、赤シートで暗記。
4. わからない部分だけ実況中継の本冊を読む
5. 左ページの流れ図に注目。まず縦軸を上から下に精読し、歴史の流れを理解する。
6. 次に横軸に注目し、隣国との戦争や関係などを理解する。
7. 何度も流れ図を復習して全て即答できるようにする

勉強したらセンター過去問を解いてみます。センター7割くらい取れるまで復習を繰り返してください。

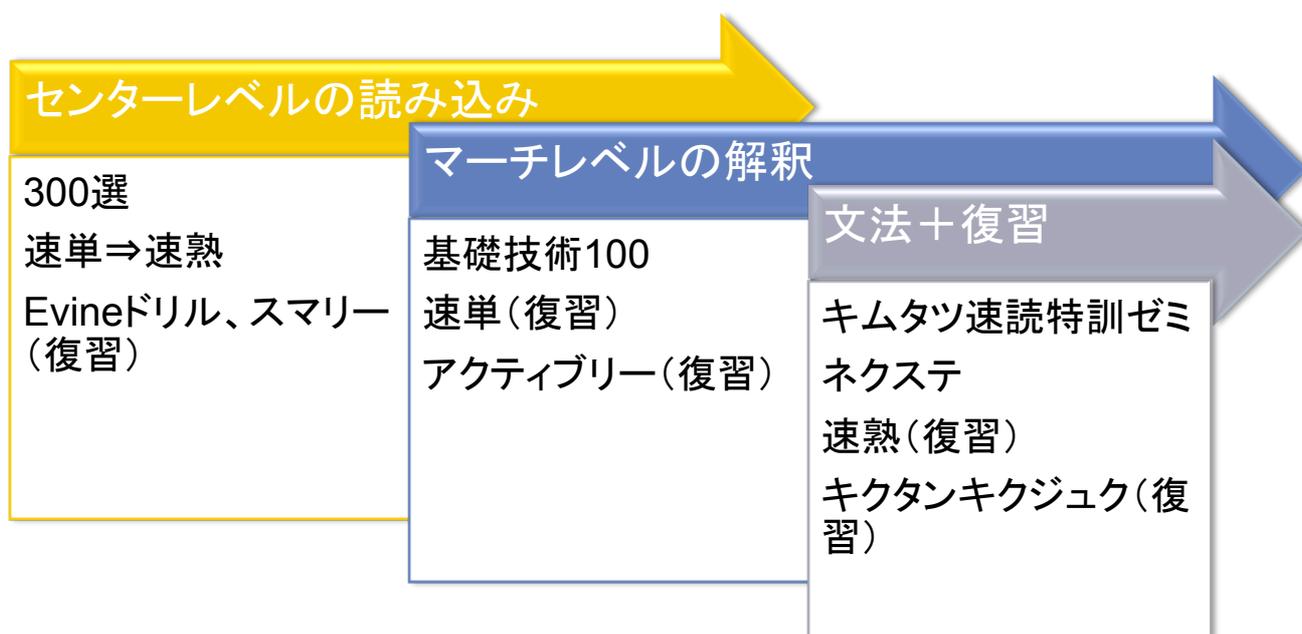
試練その6:教科書(センター・マーチ)レベルの学力を固める

基礎学力を固めた後は、一般的に人気の参考書を勉強していきます。『速読英単語』とか『NextStage』といった定番のテキストを勉強していきます。

こういったテキストを勉強すればセンター8割、マーチレベルの学力が身に付きます。

センター英語 9割・マーチ英語突破講座

このレベルの勉強の手順は以下の図の通りです。



※新規で勉強する参考書と並行して、基礎学力養成講座で勉強した参考書の復習も入れています。これはあくまで例なので、自分の好きなタイミングで復習していいです。

まずは『300選』『速単』の2つを勉強します。その次に『300選』を継続しながら『速熟』を勉強します。ここまでの勉強でセンターレベルの知識、読み込み量は十分なものになります。

ここまで終わったら、一度センター過去問やマーク模試問題集を解いてみることをおすすめします。理論通りなら8割程度は得点できるようになるはずです。8割以下ならきちんと復習しましょう。

キムタツ式英語長文速読特訓ゼミ 難関レベル編

次はマーチ～マーチやや難レベルの長文問題を解いていきましょう。

『[キムタツ式英語長文速読特訓ゼミ 難関レベル編](#)』はCD付きで15題長文を収録しています。

使い方は本に書いてある通りにやれば何の問題ありません。パラグラフごとのメモを取る事。要約を面倒くさがらずに書くこと。

そして、ここまでの勉強でセンター英語で9割未満の人は「リーズニング」も実践してみましょう。リーズニングとは、



「なぜこの選択肢が答えになるのか」「なぜこの選択肢は間違いと言えるのか」という理由をノートに書いていくことです。

普段、あなたは頭の中でなんとなく「これが答えかな？」と答えを決めているかもしれませんが。それではなかなか長文の正答率は上がりません。

このテキストは設問が素直なので、その分毎回満点を目指して、丁寧に根拠をメモしながら問題を解いていきましょう。

今まであてずっぽうで問題を解いていた人にとっては少々大変ですが、その分リターンは大きいです。ぜひすべての問題でリーズニングを行ってください。

過去問演習と、長文演習量が足りないと感じたとき

このカリキュラムでは、センターレベルの問題集を指定していません。速単と速熟を徹底的に読み込み、現代文の勉強も正しく行っていればそれで8割程度は取れるからです。

とはいえ、センターレベルの問題集もやっておきたい。という人は以下のいずれかをやってみましょう。

- ①『[マーク式総合問題集 英語](#)』などで演習
- ②『[キムタツ式英語長文速読特訓ゼミセンターレベル編](#)』でリーズニング

①進捗確認のためにも使える模試問題集を、参考書のように使用していく方法です。ここでは主に第3問から第6問だけ解いていきます。

模試などで長文の得点が低い人は先述したリーズニングを実践していきます。

②はキムタツ式のセンターレベル編を勉強するというものです。18題あるので演習量は十分稼げます。

また、マーチの過去問を持っていたらここで一度問題を解いてみるのもいいです。まだ高得点は取れないと思いますが、長文問題はだいぶ読めるようになっているはず。

試練その7で「過去問分析」をしますが、その予習として、マーチではどれくらいできているかな、というのをぜひここでチェックしておきましょう。

センター国語 8割・マーチ国語突破講座

次は現代文です。センター現代文は難しいので7割～8割程度、マーチで合格点を取る力を取る勉強法を解説します。

想定しているのは早稲田大学志望生なので、センター国語第2問の「小説」対策は基本的に考えないものとします。

現代文+古文

評論文キーワード
土屋の古文100

現古漢

アクセス発展
二刀流634
漢文道場

過去問演習

センター黒本15年
適宜復習

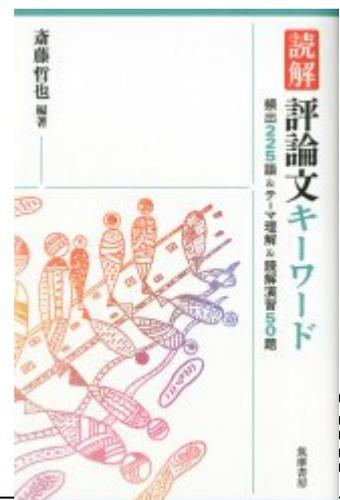
このレベルになると現古漢を同時に進めていくことが理想です。早稲田志望なら可能なはず。もしキツイ場合は現⇒古⇒漢の優先順位で進めていきましょう。

出来れば、現代文はキーワードの勉強だけじゃなくてアクセスを並行で解いてきたいところです。

現古漢どれもかなりの量の文章を読んでいます。大変ですが、ここでの読み込みの経験値がそのまま学力に比例すると考えて頑張りましょう。

読解 評論文キーワード:頻出 225 語&テーマ理解&読解演習 50 題

現代文はまず評論用語と背景知識と多読を行います。



『[読解 評論文キーワード:頻出 225 語&テーマ理解&読解演習 50 題](#)』を使用。

本書は評論文で重要なキーワードの説明をしていく典型的な現代文用語集なのですが、入試相当の長さの評論文の抜粋をなんと 50 題も収録しています。

用語を覚えながら、それを評論文の長文を読み込みながら読解力も同時に鍛えていきます。現代文版速単だと考えるといいでしょう。

使い方や勉強法は本書の前書きにかなり詳しく書いています。

1. 各用語の解説を熟読する。例文も熟読。
2. 具体例を自分で考えてみる。
3. 評論文を精読する。問題が 1 題だけあるので解く。
4. 用語を自分の口で説明してみる。

最終的なゴールは、各用語を自分の口で具体例も交えながらわかりやすく説明できるようにすることです。ぜひ友達などを生徒役にして説明する練習を積み重ねましょう。

ここで、背景知識を勉強する意義と、細かい勉強法についてお話ししますね。

このレベルの勉強で行ってほしいのは背景知識の勉強です。背景知識は読解力の一翼を担っていますが、なかなか重要視されていない分野です。

背景知識とは、評論文でよく話題となる「近代の話」「経済の話」「宗教の話」「言語論」といった、高校生にはあまりなじみのないテーマのことです。自分があまり興味のなかったり、なじみのなかったりするものについては、理解力が落ちてしまうのです。

たとえばサッカーのルールもわからない女の子が、サッカー雑誌を読んでも全然理解できないでしょう。同じように、理科に興味のない人が理系の文章を読んでも(英語でもけっこう出ますよ)頭に入っていないのです。政治、経済、宗教、言語論なども同様。

ですから、どんなテーマの文章が出されても対応できるように、あらかじめ評論文でよく出てくるテーマについて勉強しておく必要があるのです。

また各用語の「辞書的な意味」を覚えるだけでは足りません。

「イデオロギーとは政治や社会の様式を決定するような思想や観念。」といった辞書的な意味を覚えるだけではダメ。「絶対的なものとして信じられ人々の思想や行動を縛ってしまうものとしてマイナスイメージとして使われることが多い」というところまでチェックしておくこと。

文章中でどのように使われることが多いのか、ということを文脈の中で理解してください。

土屋の古文 100



古文は基礎固めを終えたらあとは多読です。たくさんの古文を読んでストックした者勝ち。

ということでガンガン古文を読んでいきましょう。

まずは『[土屋の古文 100](#)』で 100 個の古文を読んでいきます。これはいわば古文版速単です。設問はなく、現代語訳を照らし合わせながら古文を音読していきます。

たくさんの古文を読むことで、知識を増やすことはもちろん、古文常識や作品常識を知ることが出来るのです。

古文をたくさん読んでいると、古文によくある話の展開、文の呼吸がわかってきます。読解テクニックを考えなくても主語がわかってくるし、尊敬語の対象もわかるようになってきます。

また、古文は英語と違って題材が新しくなることはないのです、有名な古文が入試で使われることがあり、有利になります。

教科書に載っている古文が実際の入試に出たこともあります。私は明治大学の古文で読んだことのある文章が出題されて、その問題は瞬殺することが出来ました。

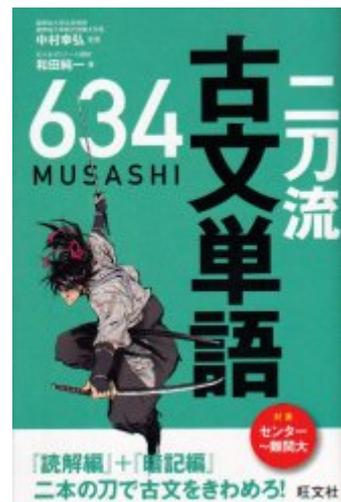
読んだことのある古文が出ることを期待してはいけませんが。

このように、古文を多読することでさまざまなメリットを得ることが出来ます。

二刀流古文単語 634

『[二刀流古文単語 634](#)』も古文版速単。単語を覚え、40の古文を読み込んで更なる高みを目指します。

本書では読み込みに加えて、別冊になっている単語帳で634語の単語を整理・暗記することも重要です。



ここまで古文を読み込めばマーチレベルの古文はかなり読めるようになっているはずです。センター古文もけっこう読めるようになっていると思います。

この本は情報量が多いですが、古文だけ読むのではなく、単語の説明を熟読したり、出展ポイントを確認したり古文常識を覚えたりしましょう。書いていることは全て吸収するつもりで取り組んでください。

単語暗記編ですが、まずは一語一義を徹底して覚えましょう。一通り覚えたら2つ目、3つ目の意味も覚えていってほしいですが、あまり深追いはしない方がいいかなと思います。カードを作って覚えるのはいいかもしれません。

土屋の古文と合わせて140本の古文。2か月～3か月程度の時間を作ってじっくりと丁寧に読み込んでいってください。

途中読み込みに飽きて問題演習をしたくなったら、次のセンター過去問や古文上達の復習をしましょう。

漢文道場

次に、早稲田の漢文で戦う力を身に付けるために『漢文道場』を勉強します。

ここまで勉強すれば、ほとんどの大学の漢文でしっかり得点できるようになるでしょう。

センター漢文でも9割近い得点を取れるようになるはずですよ。

錬成編はなかなか難しいと感じるかもしれませんが、初回の正答率は気にせずに丁寧に復習していきましょう。

センター過去問本試 10 年分

一通りコア参考書の勉強を終えたら、センター過去問（河合の黒本）で問題演習を試みましょう。

追試は解かず本試のみを10年～15年分解きます。

現代文40分、古文25分、漢文15分を目安として制限時間を設けて解いてみてください。（1題ずつバラバラで解いてもOK）

センター過去問は分厚くてそのままでは使いにくいので、1年分ずつ根本からはぎ取って使うといいですよ。

マーチの過去問も一度解いてみるといいですよ。



センター世界史 8～9 割・マーチ世界史突破講座

ここからは難関レベルの世界史です。ここでの中心作業は用語暗記になります。

基礎学力養成講座にて、世界史の流れと基本用語は押さえました。また、『流れ図』の図を使うことで、タテとヨコも把握できます。

あなたがこれからやるべきことは、用語をガンガン覚え、流れ図のタテとヨコの理解を深めることです。ではいきましょう。

青木世界史 B 講義の実況中継①～④

基礎学力養成講座でも少し使ってもらった実況中継を、ここでは全て精読していきます。

基本的に①巻から④巻までを通読し、細かい知識を蓄えます。流れ図をしっかりと覚えていけば理解できない事はないと思います。



ここでも、流れ図を横に置いてチラ見しながら通読しましょう。

実況中継のサブノートは使わなくて OK です。流れ図や、次の一問一答を暗記テキストとして使いましょう。

入試に出る世界史 B 用語 & 問題 2000

実況中継と並行で『[入試に出る世界史 B 用語 & 問題 2000](#)』を覚えていきましょう。

これが本レベルのメインテキストになります。普通の一問一答と違って、流れや要点も書いているところが吉。

また、今まで使用してきた流れ図や実況中継とは分け方が違ってタテ割り構成です。たとえば中国史を古代から現代まで一気に勉強することが出来ます。



高校 100%丸暗記 世界史年代

年代暗記はなるべく早い時期から取り組んでおきましょう。最初はテキストに登場した年代をこの本で調べて、テキストにゴロを書き込んでおくくらいで OK です。

『[高校 100%丸暗記 世界史年代](#)』



最終的には 300 個きちんと全て覚えて下さい。オススメはゴロを唱えた音声をスマホなどで吹き込んで繰り返し聴くことです。

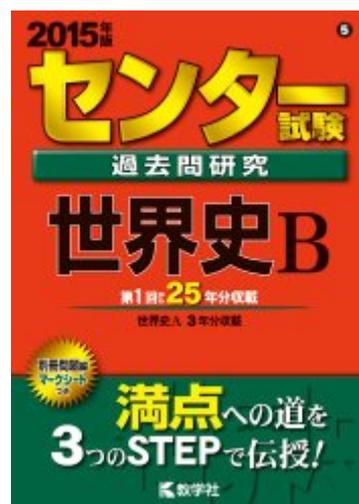
センターやマーチの過去問

一通り勉強したところで、過去問を解いてみましょう。センターでもマーチでもどちらでもいいです。

今までやってきた勉強だと、一問一答形式の問題なら解けると思いますが、センター試験のように正誤問題だとなかなか解けないと思います。

ここ辺りで一度センター過去問を5年分ほど解き、「どのように記憶すれば正誤問題で得点できるのか」をきちんと考えておきましょう。

今までずさんな覚え方をしていたんだなと反省するかもしれません。しばらく復習と演習を繰り返して、センター8割、マーチで7割程度取れるようにしてみましょう。



試練その7: 過去問を分析し受験戦略を立てる

敵を知り己を知れば百戦危うからず。大学の傾向を徹底的に調べよう

受験勉強で失敗する人はたいてい「自分も知らず敵も知らないまま特攻」するのが特徴です。

自分を知るといえるのは「現状学力」や「自分の普段の意識」などのことです。その問題はここまでの試練で解決しました。次は相手を知りましょう。

大学入試の問題傾向は大学によって様々です。

特に早慶上智などの難関私立大学は、学部間でもかなりの違いがあります。文学部と法学部の問題では全く違う大学の問題といってもいいほどに違います。

たとえば早慶上智のとある学部では文法問題がほとんど出題されません。逆に、文法語法や会話問題、整序問題が大量に出題される学部もあります。

大学が出してくる問題の難易度や量に合わせて、こちらもそれぞれの分野を重点的に強化する必要があるのです。

たとえばテニスで考えてみましょう。

- サーブは強いのか、弱いのか、
- フォアハンドは強いのか、弱いのか
- バックハンドは強いのか、弱いのか
- ボレーは強いのか、弱いのか

相手に勝つためには、どこを攻めなければいけないのかを考えることが重要です。もちろん真っ向勝負！と言って相手の得意なショットとガチンコで勝負するのも時には大切かもしれません。

しかしあらゆるスポーツで基本的に大切なのは「相手の弱点を突く」ということで間違いはないでしょう。

受験勉強で言うと、難易度の低い科目できちんと得点を稼ぐのが基本中の基本。その上で「差が付く問題」で得点できるようにすることが大切。

どういうことか。「簡単な科目は皆とるから差が付かない」
「難しすぎる科目は誰も取れなくて差が付かない」のです。

ただ、簡単で確実に得点できる古文や漢文の勉強すらきちんとしないで点を落とすという、戦略上、非効率な勉強をしている人が多いです。

早稲田の場合だと、社会が難しすぎ、国語は簡単すぎて差が付かない商学部、社学などは英語が差の付く科目になります。

受験勉強ではどうか。「志望大学・学部はどんな問題を出題してくるのか」を知ることが敵を知ることです。

では、実際に手元にある過去問を見てみてください。持っていなかったらなるべく早く購入すること。「付録」に載せている東進や受験サプリアから過去問をダウンロードしましょう。

過去問を見て、以下のポイントをチェックしてください。

- 単熟語は今のままで通用するか。どれほど難しいか。
- 文構造を把握できない英文はどれほどあるか。
- 超長文は出題されるか。何題出されるか。
- 文法問題・整序問題・正誤問題・会話問題・作文問題は出るか。
- 現代文の文章内容は難しいか。
- 古文の文章内容は難しいか。漢文はどうか。設問はどうか。
- 古典の知識問題と読解問題の比重はどうか。

- 数学で頻出の単元は何か。問題数は多いか(計算力が
必要か)
- 社会は難しいか。マニアックな問題が出るか。年号、地図
問題は出るか。文化史の比重はどうか。

次は何点取って合格するかという話。200点満点で合格最低
点が140点の場合、英語で何点取り、国語で何点取り…と
いうような得点戦略も考えておきましょう。

まず配点が高い科目でなるべく稼ぐ事。難しい科目は欲張ら
ない事。以下は早稲田商学部の目標得点例です。

英語

配点80 目標65点

- 制限時間は厳しいが内容自体は難しくない。配点が高いので8割を
目標に高得点を狙う。

国語

配点60 目標45~50点

- 比較的易しめで高得点を狙いやすい。8割程度を目標にしてよい。

社会

配点60 目標30~35点

- 歴史は強烈に難しい。5割を最低取るとするしのぎ科目にする。

過去問分析 実践編

ここからは受験のプロが執筆した本を使用
して、実際に過去問を分析してもらいます。
使用するのは2冊。



まず、『[親と子の最新大学受験情報講座 文系編](#)』を買い、後半部分の「早稲田大学の学部ごとの科目の難易度・対策」を熟読してください。

ここを読めば「早稲田の社学は社会が難しくて国語は簡単な、英語で差がつくな」ということなどがわかります。

他にも、有益な受験情報が満載の本ですので、空き時間にコツコツと読んでおきましょう。

次に、『[赤本の使い方](#)』を読みながら、あなたの志望大学・学部の過去問を実際に見てみましょう。実際に問題を解いてみてもいいです。

センター・マーチレベルの学力を固めたあなたなら、「どこは出来てどこが出来ないのか」ということがわかるはずです。



『親と子』に書いてあったことを踏まえながら、問題と解答をじっくりと見てみます。

- 英語は読めない単語に丸をつけて数えてみる
- 解釈できない英文にチェック
- 現代文は文章のみ読んで理解できるか確認。知らない漢字や用語を確認

- 古典も同様に知らない単語、用語をチェック。文章内容を理解できるか
- 社会は普通に解いてみる。解説を見て、勉強したことがない用語がどれほどあるかチェック。そして見たことある用語の問題を正解できれば何割取れるかを確認。

過去問を見て、気付いたことなどを『赤本の使い方』付録シートに書き込んでいきます。配点や重要度などもシートに記入します。

「今自分に足りないもの」を具体化させたら、あとはその足りないものを参考書で強化していただくだけです。つまり次の「試練その8」にて、早稲田レベルの学力をつける勉強をしていきます。

今後の勉強は、できる限りあなた自身で勉強計画や使用する参考書を考えて進めていってください。

試練その8: 早稲田レベルの学力を固める

さて、いよいよここまで来ましたね。ここまで来たら、早稲田の過去問で5割程度は得点できるようになっていると思います。

あとは『親と子』も参考にしながら、志望学部に合わせて参考書を勉強していくといいです。

理想としては、8月～9月頃からこの勉強をできるようにしてほしいです。浪人生なら6月頃に入ってほしいですね。

当然、このレベルの勉強に入る時期が遅ければ遅れるほど合格率は下がっていきます。

早稲田大学の英語突破講座

早稲田の英語で重要なのは「単語、熟語、解釈」をきちんと固めること。

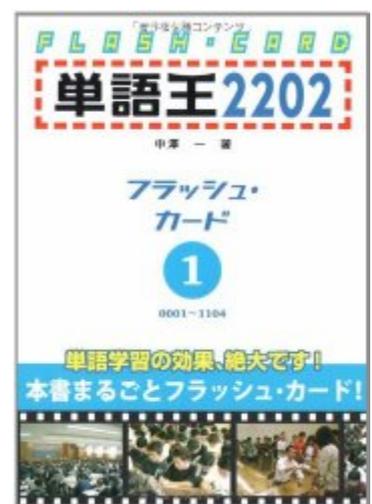
そして難しい長文をたくさん読んで「早稲田レベルの長文が普通レベルに感じる」ような読解力を身に付けましょう。

ちなみに、慶應や上智大学を受ける人にも参考にはなりますが、慶應上智の英語は早稲田よりも難しいです（一般的には）。ですから慶應上智志望の人はここに書いていることプラスαでやってください。

単語王 2202

早稲田や慶應大学でも十分な語彙力を身に付けるために、受験用としては最高レベルの単語帳である『[単語王 2202](#)』を覚えていきましょう。

『単語王』はその評判と見た目の厚さから敬遠されることが多いですが、見出し語の



量は実はそこまで難しくありません。

単語王の価値は「訳語、派生語の多さ」にあるのです。

今まで基本的に単語を「一語一義(1単語に1つの意味)」しか覚えてきていない人は、早慶レベルの英語を読んだときに「この単語ってこんな意味もあったの？知らなかったよ…」となります。

そのために単語王で複数の訳語を覚えましょう。

また、長文の中の設問の中に「傍線の単語と同じ意味の英単語を選べ」というものがあります。

そういう問題を解くときには「ある英単語の類義語、反義語」をどれだけ知っているかが重要になります。そのために、単語王で派生語をできるだけたくさん覚えていきます。

『単語王』は本、カード、CDの3つがありますが、メインに使うのはカードとCDをおすすめします。

本は分厚すぎて少し使いづらいです。発音記号をしっかり覚えているならCDを使わなくても十分使いこなせます。

1. まず見出し語 2202 語を覚える。1日 200 語程度のペースで進める。
2. カードで「即答できる単語」「できない単語」を仕分けしながら進める。
3. 翌日、翌々日に復習しながら(できない単語に絞る)進める
4. 以上を2か月以内に3周~4周する

5. 多義語は多義語だけでカードをまとめて覚える
6. 1日100語程度に減らし、訳語、派生語を覚えていく

1日あたりに触れていく単語数は自分で調節してください。

私は見出し語を覚えるときは1日に大量に触れていましたが、派生語や訳語を覚えるときは1単語あたりに時間がかかるので100語くらいに減らしていました。

解体英熟語

ここまでの勉強で英熟語は十分なほど覚えてきました。

今度は問題の中で実戦力を鍛えるために

『[解体英熟語](#)』を使用してガンガン問題を解いていきます。

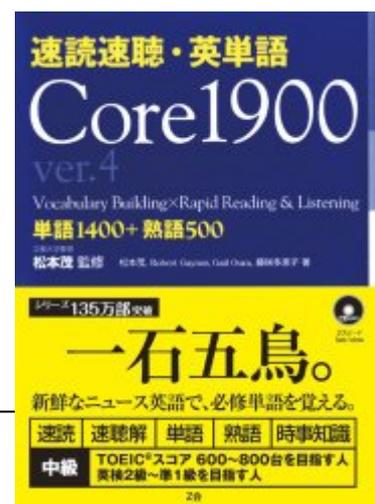
使い方としては問題を解くことを中心に置きます。解説などは適宜読んでもいいですが、頭でっかちになりすぎないように注意。

とにかく問題を解けるようにしないと入試では意味がありません。問題を何度も反復して解くことを中心にやっていきましょう。



速読速聴・英単語 Core1900 Ver.4

ここでは『[速読速聴・英単語 Core1900 Ver.4](#)』を使います。



『速単必修編』よりも難しめの長文を多読して、早稲田レベルの長文をあなたにとってのスタンダードにするために勉強していきます。

本書は時事英語を含む最新テーマに沿った英文を **64** 文収録。スラッシュリーディングがしやすい構成で、速読力もつけやすいです。

多読することで自然と背景知識も身に付きます。

使い方はやはり **CD** を使ったのシャドウイングやサイトトランスレーションです。本書は **fast・slow** スピードの **2** 種類があり、まずは **slow** スピードで **1** 周目の勉強を行い、**2** 周目に **fast** スピードで読み込みを行っていくといいでしょう。

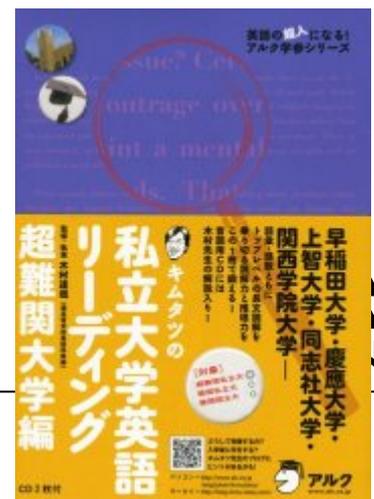
もちろんいきなり **fast** スピードでも大丈夫な人は **fast** の **CD** のみ使えばいいです。

このテキストは **1** か月目で **1** 周、**2** か月目で **3** 周、**3** か月目でさらに読み込み…というように **2~3** か月くらい継続して繰り返し音読して行ってほしいです。

キムタツの私立大学英語リーディング超難関大学編

次は早慶レベルの演習です。

『[キムタツの私立大学英語リーディング超難関大学編](#)』を使用します。



早慶上智、同志社、関学という難関大学5校からの入試問題
18題＋模試問題2題が収録され、復習用のCDも付いています。

値段は2000円程度と少し高いですが、クオリティを考えるとリーズナブルでしょう。

見た目は何かテクニカルな解説が多いのかなという印象ですが、中身は割とオーソドックスです。意外にクセがないので誰にでもおすすすめできます。

このレベルの勉強では徹底的に過去問を意識して問題を解いてください。まず制限時間を厳守すること。効率的に問題を解くために「設問の先読み」「スキヤニング」を身体に叩き込んでください。

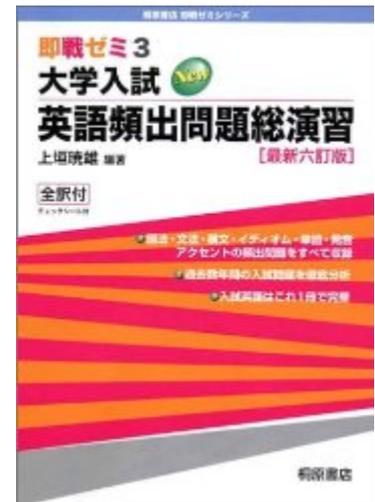
さて、本ファイルでは長文問題集はここまでを基本としていますが、英語が難しい学部を受験する人は足りないかもしれません。そこでCD付きで早慶上智レベルの問題集を2冊紹介しておきます。

- ✓ 『[英文読解の完成—設問予測で読む](#)』(トフルゼミナール)
- ✓ 『[論理を読み解く英語リーディング](#)』(アルク)

大学入試英語頻出問題総演習 (即戦ゼミ) 最新六訂版

構文・英文法・語法・イディオム・会話表現などの総復習として『[大学入試英語頻出問題総演習](#)』を暗記します。

早慶志望者に人気の文法書としては『英文法・語法 1000』がありますが、こちらは分野別にまとめられているので演習には向きません。



「受動態」という単元を勉強していれば、それが答えになるのは明らかにわかってしまうからです。

このレベルの勉強ではランダム配列の問題集の方がいいでしょう。

本書は非常に難しく解説もほとんどないことから使い方に注意が必要です。ただ、ここまでの勉強で単熟語と構文を念入りに覚えてきたあなたなら十分使いこなせるはずです。

他にも最近注目している問題集としては『[スクランブルハイグレード 英語問題総合演習](#)』があります。

問題集は好みで選んでもいいですが、出来るだけランダム配列の物を選び、入試本番で使える知識を身に付けましょう。

英作文、会話問題、整序問題、正誤問題対策

これらの参考書は必須というわけではなく、自分が受ける学部に合わせてセレクトしてください。

参考書も、巻で定番とされているものを各分野1冊ずつしっかり勉強すれば十分すぎるほどです。場合によっては特に対策が必要ないこともあるので、過去問を解いて判断しましょう。

早稲田大学の国語突破講座

ここからは主に早稲田（上智も）の現代文を攻略するための勉強法を解説します。

早稲田の現代文は間違いなく最高レベルの難易度です。難しい文章を読みこなし、いやらしい設問と微妙な選択肢の誤りを見抜く力が必要になります。

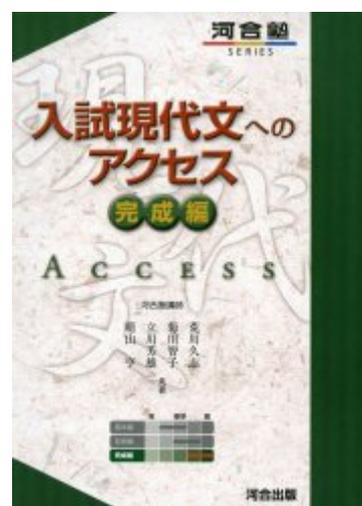
入試現代文へのアクセス完成編

次是最難関レベルの問題演習をしていきます。ここまで使用してきたアクセスシリーズの『[入試現代文へのアクセス完成編](#)』を勉強していきます。

この問題集でもサボらずにリーズニングと要約練習をしていきましょう。

この参考書を習得すれば、ほとんどの難関大学の現代文を攻略する力をつけることが出来るはずです。

この時点で一度早稲田の過去問を解いてみて、実力が足りているか確認します。



改訂版 元井太郎の古文読解が面白いほどできる本

まず勉強してみしてほしいのが上級レベルの古文読解テクニックです。

『[改訂版 元井太郎の古文読解が面白いほどできる本](#)』は目から鱗の古文読解法が満載の本になっています。



解法重視ですから、古文をまともに読めない人が使っても意味がありませんが、ここまで**200**本近くの古文を読みこんできたあなたなら全く問題ないはずです。

この本は見た目こそ分厚いですが、けっこうサクサク進められます。

1週間程度で1周し、2周目からは並行で『古文読解ゴロゴ』『古文上達基礎編』『土屋の古文』『二刀流古文単語』を一通り読み直してみましょう。

その際、元井古文で覚えた着眼点を意識して読んでいきます。元井古文に書いているテクニックが「特別なものではなく当たり前前の読み方」になるまで、たくさんの古文を読んで体に叩き込んでいきましょう。

そこまでやりこんで、元井先生の解法をさも最初からできていましたよ、という状態になれば、早稲田の古文でも十分得点できるようになると思います。

早稲田大学社会科学部 or 商学部 青本を解く

このあたりで、国語が易しめな学部の過去問で演習してみます。

社会科学部か商学部、国際教養学部や人間科学部、スポ科などがいいでしょう。

ただし、なるべく現古漢がそろっている学部（年）がいいですね。



使用するのは教学社の赤本ではなく、駿台出版の「青本」です。解説がかなり詳しいので、参考書のように勉強できます。

青本が出るのは赤本よりも若干遅いので、それまで待ってから買いましょう。

3年分を、制限時間きっちりと本番のように解いてみます。

今まで勉強した読解技術・思考力・解答力が早稲田の国語に通用するかを確認してみましょう。ここでは得点の出来具合は重要ではありません。

現代文、古文、漢文でバランスよく取れるならいいですが、5割以下の分野がある場合は参考書の復習をしましょう。

国語が易しめの学部のみ受ける人で、コンスタントに8割程度取れるなら対策はとりあえず完了です。

数年分解いてみて、7割以下の科目があるなら、次に紹介する参考書でもう少し補強します。

入試精選問題集 7 現代文 4 訂版

現代文が難しい学部を受ける人はもう少し問題演習をしていきます。

『[入試精選問題集 7 現代文 4 訂版](#)』は解説が非常に詳しいので、このレベルでも疑問を残さず勉強できると思います。

マーク型の設問と記述型の設問どちらもありますが、記述といっても長くて80字程度。

そのくらいの記述問題はぜひ取り組んでほしいと思います。

早稲田の法学部志望なら必ずやるべきですね。

私は直前期に使用していました。記述型も解いていたのですが、記述型を勉強しても、マーク型の力に良い影響を及ぼすことは確かです。設問タイプは違っても同じ現代文です。

時間があるならすべての問題を解いて、問題文を読み込み、そして設問を丁寧に復習していきましょう。

首都圏「難関」私大古文演習

早稲田や上智などの難関私立大学に絞った問題演習をするために『[首都圏「難関」私大古文演習](#)』を勉強します。

ここでも『元井古文』の読解法を意識しながら解いてみます。ただし、テクニックのみに頼らないよう注意して下さい。



読解の基本はやはり「全体の話の流れ」「登場人物はだれか」「オチは何か」などを押さえることです。

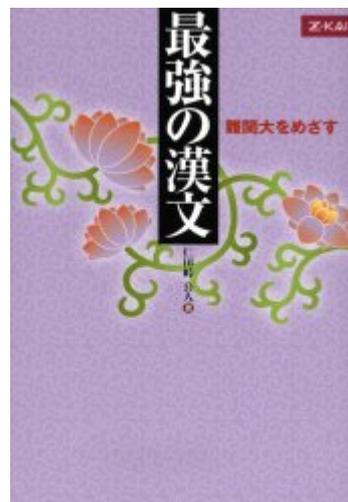
※代わりに河合の『精選問題集 古文』を使用しても OK。

最強の漢文

漢文も難しい問題を解くためには、もう 1 冊勉強しておくべきです。

『最強の漢文』を使い、まさに最強レベルの漢文力を身に付けましょう。

※絶版らしいので、入手できない場合は河合の『精選問題集 漢文』を使用しましょう。



記述問題もけっこうありますが、漢文の記述問題はたかが知れているので基本的に全てきちんと解いていってください。

このレベルでも音読を忘れずに。

志望学部の青本を解いていく

ここまで勉強すればほとんどの学部の過去問で合格点が取れるようになっているはず。あとは自分の学部の過去問を 5 年分解いて、復習を何度もやって完全に習得します。

この段階には年明けにはたどり着いてほしいですね。

早稲田の世界史突破講座

私は早稲田の文で8割、教育で9割得点しましたが、その勉強法を解説します。社会学や商など難しい学部だと7割5分が限度でしたが、まあ十分対応できるはずです。

佐藤の世界史 現代史の特別講義

おそらく、普通に世界史を勉強していると現代史に苦手意識があるはずです。

そこで『[佐藤の世界史 現代史の特別講義](#)』を読みましょう。これは新書ですが、戦後の世界史を非常にわかりやすく解説してくれています。

熟読することで冷戦やヴェトナム戦争など理解しづらい部分がわかり、現代史を得点源にすることが出来ます。

合わせて実況中継の④巻のCDも繰り返し聞いておくと効果あります。

本書を読んだ後に、流れ図や一問一答の現代史部分を復習してください。きちんと暗記しきることが出来れば、現代史を得点源にすることが出来るはずです。

佐藤の世界文化史一問一答

次は文化史を攻略するために『[佐藤の世界文化史一問一答](#)』で暗記していきます。問題量がけっこう多いのでコツコツ継続して覚えていきましょう。



現代史と文化史の2つを強化すれば、早稲田の文学部などは7割～8割近く得点できるかもしれません。

実力をつける世界史 100 題

最後の問題集です。

『[実力をつける世界史 100 題](#)』を、たっぷり時間をかけて覚えていきます。

時間がかかるようなら、最初は問題を解かずにいきなり答えを見て、その後に音読しながら空欄を埋めていく復習重視の勉強で進めていってもいいでしょう。

早稲田の文や文化構想、教育など、世界史がそこまで難しい学部なら100題までやらなくてもいいと思います。

商、社会学、法、政経など世界史が難しい学部を受ける人はがっつり取り組んでください。

段階別世界史論述のトレーニング

商、政経、法など論述問題が出る学部を受ける人は『[段階別世界史論述のトレーニング](#)』でとりあえずの対策を済ませてください。

これ以上の勉強が必要になるかは、あなたが世界史で何点取るのかにかかってくるので、ここでは1冊紹介するのみにしておきます。



勉強法は「用語を使って論述の解答を組み立てていく（声に出す or 実際に書く）」こと。何度も反復しましょう。

過去問 20 年分を解き、テキストを復習

100 題を 7 割程度覚えたら、早稲田の過去問を解いていきます。最終的には 40 年分解いてほしいので、受ける予定のない学部 of 過去問も（中古でいいので）用意してください。

まずは簡単な文化構想・文学の問題を 5 年分くらい解いてみます。苦手な分野・時代を分析して、100 題などで復習します。復習が終わったら次の学部を 5 年分解きます。

過去問⇒テキスト復習⇒過去問…というサイクルで 20 年分くらい解いてみてください。おすすめは文化構想⇒文⇒国教⇒教育の順に解くことです。

試練その 9: 模試や過去問を解き弱点を埋める

12 月～1 月頃にはこの段階に入ってほしいですね。『赤本の使い方』の実戦演習の段階のページを読んでみてください。過去問を解き、「演習シート」に必要事項を記入します。

この段階で必要な事は「自分の弱点を知ること」「失点パターン of 分析」「その対策を考える」ということです。

自分のダメなところと徹底的に向き合ってもらうので、精神的にかなりキツイ時期になります。

しかし、一切の情けを与えてもらえない1回勝負の入試本番で確実に合格点を取るためには、徹底的に自分に厳しくならなければならないかもしれません。

英語の最終演習書

過去問と並行して解いていく問題集として『[早稲田の英語 第6版](#)』があります。

過去問を解く前にやっても構いません。

全て解くとしたらかなりの時間がかかりますから、なるべく余裕を持って始めるか、優先順位を決めて取り組みましょう。



国語の最終演習書

国語は下手な専用対策書よりも青本を使って丁寧に復習した方が、得点力は付くと思います。

- ✓ 『[青本 早稲田大学 社会科学部](#)』
- ✓ 『[青本 早稲田大学 教育学部 文系](#)』
- ✓ 『[青本 早稲田大学 法学部](#)』

基本的には受ける学部の過去問を解けばいいです。入手できる過去問の分は全て解きましょう。

この段階で重要になってくるのは以下の2つです。

1. リーズニングで徹底的に考えて解くこと
2. 制限時間内に解けるようになるまで反復すること

試験本番は制限時間があるので、現古漢すべてを解いて5分くらい時間を余して合格点を取れるようにしましょう。

ここまで勉強すれば、早稲田の国語が難しい学部でも7割～8割程度は得点できるようになると思います。

私はリーズニングをすべての教材で徹底的出来なかったので早稲田の文や法で8割程度の実力でしたが、徹底的に精読しリーズニングをすれば安定して8割以上の得点を取れるようになるはずです。

あとは今まで勉強してきた参考書の復習と並行で過去問を丁寧に解いていきましょう。ゴールまであと少しです。

世界史の最終演習書

世界史はもう20年分の過去問を解きましょう。合わせて40年分の過去問を解けば、あなたの世界史は無敵の物になっているはずです。

あとは今まで勉強してきた参考書をみっちり勉強⇒過去問も復習⇒参考書復習というサイクルで勉強してください。

私はこの勉強法で早稲田の問題の傾向を知りつくし、本番でも8割9割得点できました。世界史が難しい学部でも7割以上の得点を取れなくもありません。

世界史にあまり時間を突っ込んでしまうと私のように失敗しますが、ぜひここまでの勉強をやりきってほしいと思います。

付録：お役立ち情報・シート

付録①：参考書ルートと年間計画

	英語	国語	世界史
1月	ユメタン 0+Evine ドリル⇒大岩英文法	漢字マスター 読解テク	
2月	キクタン Basic スマリー	アクセス基本	
3月	キクジュク Basic アクティブリー	単語+はじてい⇒古文読解ゴロゴ	マンガ
4月	構文 300 選+速単必修	古文上達基礎編 読解はじてい	流れ図 (実況中継)
5月	構文 300 選+速熟	速答法+漢文入門	
6月	基礎技術 100 キムタツ難関	評論キーワード 土屋の古文 100	実況中継 一問一答
7月	ネクステ		
8月	単語王・解体 Core1900	アクセス発展 634 漢文道場	佐藤現代史 佐藤文化史 年代暗記
9月		アクセス完成	100題
10月	キムタツ私立リー 論理を読み解く	元井古文 青本 5年分	文化史 年代暗記
11	即ゼミ	精選現代文	(+論述トレ)

月	英文読解の完成	首都圏古文	過去問 40 年 分+復習
12 月	分野別対策	最強の漢文	
1月	早稲田の英語	青本+復習	

付録②：必ずブックマークしておきたい役立つサイト5選

ここでは、受験生なら誰でも知っておいて活用しておきたいサイトなどをご紹介します。

Kei-net 志望校検索

河合塾が運営する「[Kei-net>志望校検索](#)」のページでは、自分が受ける科目や偏差値、都道府県などから受験できる大学・学部を検索することが出来ます。

河合塾が提供する大学入試情報サイト

Kei-Net
Kawaijuku Educational Information Network

受験に役立つ情報満載!
KeiNetメルマガ登録

新規会員登録

大学入試情報 学習対策 **志望校検索** 先輩の声 情報誌・解説記事 会員メニュー

Kei-Netトップ > 志望校検索 > Kei-Net大学検索

志望校検索
UNIV SEARCH

- 志望校検索トップ
- Kei-Net大学検索**
- 入試難易予想ランキング表
- 模試判定システム
- オープンキャンパス情報
- 学問ウォッチング
- 注目の大学

Kei-Net 大学検索

department
schedule
address
entrance examination
degree of difficulty

現在、日本にある大学の数は約750校。Kei-Net大学検索なら大学名・所在地はもちろん、入試科目・入試日程・学部系統・取得できる資格などさまざまな条件で検索が可能です。多くの大学の中から希望にあう大学がすぐに見つかります！

Kei-Net大学検索を利用する

たとえば「英語、国語、数学」という私立だとややマイナーな選択科目で受験する人は、数学で受験できる大学学部を検索して全てピックアップすることが出来ます。

大学受験パスナビ：旺文社

「[パスナビ](#)」では大学の入試科目や難易度などを簡単に調べることが出来ます。

The screenshot shows the '大学受験パスナビ' website interface. At the top, there are navigation tabs: 'パスナビトップ', '大学を探す', '入試を知る', and '勉強法を知る'. A search bar is present with the text 'パスナビの使い方 supported by 螢雪時代'. The main content area includes a search filter section with 'テーマで探す' (Search by theme) and '分野で探す' (Search by field) options. Below this is a 'タイプで探す' (Search by type) section with radio buttons for '国立', '公立', '私立', and '女子大のみ'. A '大学名で探す' (Search by university name) field and a '検索' (Search) button are also visible. On the left, there is a map of Japan with various regions highlighted. On the right, there are promotional banners for '英単語ターゲット1900' and '研究室潜入レポート'.

興味のある大学・学部の入試科目や難易度をサクッと調べたいときには重宝するでしょう。

大学入試問題過去問データベース

東進の「[過去問データベース](#)」ではあらゆる大学の過去問をPDF形式にて無料で閲覧・ダウンロードすることが出来ます。



無料会員登録は必要ですが、いちいち過去問を買わないでも併願学部の過去問をチェックしたり問題を解いたりすることが出来るので、ぜひブックマーク&登録しておきましょう。

受験サプリ

「[受験サプリ](#)」でも過去問をダウンロードすることが出来ます。東進よりも扱っている過去問はすくないですが、その分解説がついてくるので、有名大学の受験生にとってはうれしい。

重要なお知らせ

受験サブリ PRODUCED BY RECRUIT 機能 実績 料金 よくある質問 ログイン



日本最大級の
オンライン予備校
今なら24時間
無料お試し!

今すぐ無料メンバー登録!!

無料で手に入るものにしてはなかなかしっかりとした解説がついています。ぜひこちらでも会員登録して過去問を手に入れておきましょう。

Wikibooks>早稲田大対策

「[Wikibooks](#)」というサイトには、早稲田大学をはじめとする難関大学の問題傾向と対策が書かれたページがあります。

WIKIBOOKS

アカウント作成 ログイン

本文 議論 閲覧 編集 履歴表示 検索

継続した参加を行う場合はログインをご確認ください

早稲田大対策

• 日本の大学受験ガイド > 早稲田大対策

本項は、早稲田大学の入学試験対策に関する事項である。早稲田大学ホームページの入試情報<http://www.waseda.jp/nyusi/index.html>

ウィキペディアに早稲田大学の記事があります。

目次 [非表示]

- 1 試験問題のレベル
- 2 受験状況
- 3 政治経済学部
 - 3.1 概説
 - 3.2 個別科目
 - 3.2.1 英語
 - 3.2.2 国語
 - 3.2.3 日本史
 - 3.2.4 世界史
 - 3.2.5 政治・経済
 - 3.2.6 数学
- 4 法学部
 - 4.1 センター試験利用方式
- 5 文学部・文化構想学部
 - 5.1 センター試験利用方式

志望学部の傾向の雰囲気を知りたいときに読んでおくといいでしょう。

付録③：受かる受験生になるために読んでおくべき本 8 選

ここでは、私が受験生なら必ず読んでおきたい、そして指導する生徒に必ず読ませている本をご紹介します。

すでに、本書でいくつか受験技術本を紹介しました。

- ✓ 『[学習の作法](#)』
- ✓ 『[学習の作法 実践編](#)』
- ✓ 『[勉強の結果は「机に座る前」に決まる](#)』
- ✓ 『[親と子の最新大学受験情報講座 文系編](#)』

これらに加えて、私が特におすすめる本をご紹介します。

『[機械的記憶法](#)』

『**機械的記憶法**』は牛山という先生の本。記憶についての専門家で、最新の記憶法について解説しています。

速読することによって高速で復習したりする勉強法や、ICレコーダーを使って耳から覚えていく勉強法など、普通の受験生はやらない勉強法を提唱しています。

とはいっても、何か特別なトレーニングを積まないといけない勉強というわけではありません。

この本に書いている勉強法をすべて実践できれば、常人の数倍のスピードで記憶することが出来るでしょう。

私は英単語なら1000語1か月で覚えることが出来ますし、世界史は早稲田で9割取れるくらい記憶していました。本書に書いていることは、私が実践していた記憶法とほぼ同じでした。

大学入学後、地理を、本書に書いてあるICレコーダーを使って勉強しましたが、2000の用語を、スキマ時間を使って2か月程度で覚えることができました。

この方法を使えば歴史の勉強は非常に簡単というか、半年で8割くらい当たり前を取れるようになると思います。

半年で8割！という魔法のように感じるかもしれませんが、単純に普通の10倍くらいの反復回数を稼げるので、当然の結果です。



ICレコーダーを使って耳で勉強することが出来れば、あまりエネルギーを使わなくても20回30回の反復回数を稼げるようになります。

『和田式現役合格バイブル』

『[和田式現役合格バイブル](#)』は現役高校生が受験で合格するために必要なメンタルや生活習慣などを解説している本です。

現役とは書いてありますが、浪人生にも十分参考になる内容です。

勉強法自体はほとんど書いていないですが、それ以外の受験に関するあらゆるポイントを解説しています。

勉強時間を増やす方法といった直接勉強に役立つ方法から、家族との関係作りなど、一見受験と関係なさそうですが実はけっこう大切なことも網羅しているので、ぜひ読んでおきましょう。

『英語の勉強法をはじめからていねいに』

『[英語の勉強法をはじめからていねいに](#)』

は安河内先生が予備校で英語の勉強法を講義するといった話を漫画化したものです。

マンガとはいっても、内容はかなり本格的で理論的です。

なぜ音読が重要なのかといった英語全体の



勉強法から、英単語、英文法、英文解釈、英語長文、速読、リスニング、英作文などほぼ全分野の勉強法を網羅しています。

マンガなのですぐに読めますし、内容も豊富なので繰り返し読んでほしい本ですね。

『数学の勉強法をはじめからていねいに』

『[数学の勉強法をはじめからていねいに](#)』

は志田先生が数学の勉強法について講義したものを漫画化したものです。

英語はじていよりも理論的かつ具体的な解説になっています。数学選択の人はぜひ何度も繰り返し熟読し、本書に書いている勉強法を忠実に守ってやってほしいと思います。



付録④：やりたいことシート

「京大講師 JUN」の動画を見て、「あなたが大学でやりたいこと」「大学卒業後、死ぬまでに過ごしたい人生」を考えて書いていくシートです。

大学で具体的にやりたいことリスト

いつ、どこで、誰と、どのくらいの規模で、など超具体的に書いてください。

-
-
-
-
-
-
-

○%の人生

動画を見て、○○%の人生だとしたらどういうことがしたいか、できるかを書いてください。

●

●

●

●

●

●

●

●

●

〇〇%の人生

同じように、2つ目の〇〇%の人生においてやりたいことなどを具体的に書いてください。

●

●

●

●

●

●

●

●

おわりに

本ファイルは、孤独な状態でも必死に受験勉強をしている人のために作りました。少しでもお役に立てれば幸いです。

まず、参考書を紹介している最大の理由は「参考書選びにかける時間を省略するため」です。独学で勉強している人は参考書を調べると思いますが、可能な限り調べる時間を減らしてください。

もしあなたに時間が残されていない場合、調べたり迷ったりする時間はありません。このファイルに書いてある通りをそのまま勉強してみてください。

もちろん常に過去問をにらめっこし、必要なものがあれば自分で考えたテキストを勉強しても **OK** です。大切なのは思考を途切れさせない事です。

参考書選びの基準はとにかく「独学の人でも使いやすいもの」です。知名度は低くても独学の人使いやすいものを優先して選んでいます。特に英語は **CD** 付きの教材を選んでいます。それでは最後まで読んでいただきありがとうございました。

本ファイルについてのご質問や受験相談は右下のリンクからメールをください。

また、本ファイルを気に入ってくれたなら、左下のツイートボタンからツイートしてくださるとうれしいです。

その他：自己紹介、注意点、補足事項、言い訳などもろもろ（暇な人は読んでね）

ここまで読んでくれて本当にありがとうございました。

最後になって自己紹介するのも変ですが一応しておきます。

プロフィール

與那嶺隆之。早稲田大学在学。高校3年生の9月から受験勉強を始める。10月に受けたマーク模試で偏差値38を取るも、そこから勉強法を研究して実践し、3か月後には偏差値を20上げることに成功。しかし現役時代はあっさり不合格に。

浪人中は自宅で参考書を使って勉強を続ける。浪人の3月から7月まででカリキュラムの8割を終わらせてしまう。しかし8月~10月はガソリン切れと失恋により一切勉強が出来なくなる。冬から少しずつ勉強をして、前半の貯金により何とか早稲田大学に合格する。

2013年6月、大学受験ブログ「[独学ラボ](#)」を立ち上げる。

とはいっても半年間はあまり記事を更新せず、訪問者も100

人程度だった。2014年の2月から本格的に記事を書き始め、現在は毎日5000人ほどがHPを訪問してくるようになる。

注意点

言い訳といってもいいですが、本ファイルは私のブログ『[独学ラボ](#)』と相互補完的な内容になっています。本ファイルだけ読んでも意味が分からないところもあるかもしれません。ぜひ私のブログの方にもお越しいただき、記事を読んでいただければと思います。

独学ラボ

当HPについて | サイトマップ | 参考書一覧 | 参考書レビュー | 受験関連リンク | 受験相談

独学ラボ

大学受験の初歩

1. 受験勉強の仕方と手順
2. 志望大学の決め方・やる気の出し方
3. 赤本の使い方・傾向分析法
4. 時期別の進捗目安・模試での目標
5. 効果的な計画を立てる手順
6. 成績が上がるメカニズム
7. 模擬試験を受ける6つの意味と解き方
8. 勉強習慣の作り方11個
9. 失敗する浪人生の10個の特徴
10. 浪浪成功10か条
11. 早稲田現役合格者の模試成績
12. 早稲田浪人合格者の模試成績
13. 勉強法の本 | 学習スキルを磨く

科目別勉強法

【英語】 [勉強法の手順](#) / [英単語](#) / [英文法](#) / [英文解釈](#) / [英語長文](#) / [英語速読](#) / [参考書ルート](#)

【英語参考書】 [英単語帳](#) / [英熟語帳](#) / [英文法](#) / [英文解釈](#) / [英語長文集](#)

【現代文】 [勉強法の手順](#) / [漢字](#)・[評論語彙](#) / [背景知識](#) / [長文問題集](#) / [現代文参考書](#)

【古典】 [古文勉強法](#)・[参考書ルート](#) / [古文参考書](#) / [漢文勉強法](#)・[参考書](#)

【世界史】 [世界史勉強法](#) / [世界史参考書](#)

カテゴリ

- [大学受験 勉強法](#) (14)
- [勉強 やる気](#) (4)
- [浪人](#) (5)
- [英語](#) (33)
 - ▶ [英語 勉強法](#) (6)
 - ▶ [英単語](#) (7)
 - ▶ [英文法](#) (4)
 - ▶ [英文解釈](#) (6)
 - ▶ [英語長文](#) (12)
- [現代文](#) (8)
- [古文](#) (6)
- [漢文](#) (2)
- [数学](#) (1)
- [世界史](#) (4)
- [合格体験記](#) (4)

高2の3月、高3の5月8月10月の模試の目標得点と進捗目安

2014年05月07日 [【大学受験 勉強法】](#)

「いつまでにどのレベルまで勉強すればいいのか？」疑問に思う受験生は多いと思う。高校2年生が終わるまでに何をどれ

また、京大講師 JUN の動画などを紹介しましたが、あれは自分だけでやってもなかなか効果が出ないかもしれません。ぜひ私の方にメールを送っていただき、フィードバックを得ましょう。

本ファイルで何度もしつこいくらいに言いましたが、受験勉強はスポーツと一緒にです。体力勝負であり、メンタル勝負でもあります。勉強法＝テクニックだけでは決して勝てません。

したがって、もしあなたが参考書の情報や、自分の信じたい情報だけをすくい取るだけでは合格は難しいでしょう。ぜひその点に気を付けて読んでもらえればと思います。

それでは、ご意見・ご感想・ご相談などをお待ちしています。